Canon

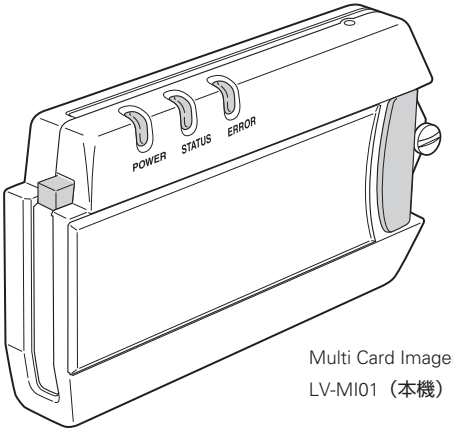
Multi Card Imager

マルチカードイメージャー

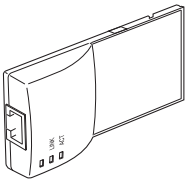
使用説明書

設置と操作

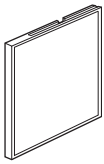
はじめにお読みください



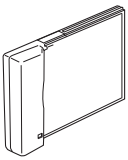
Multi Card Imager
LV-MI01（本機）



Wired LAN Card
LV-WN01（別売）



Compact Flash Card
LV-WN03（別売）



Wireless LAN Card
LV-WN02（別売）

日本語

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。

■絵表示について

この使用説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠	**警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠	**注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

感電注意

△の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容が描かれています。
（左の絵表示は感電注意を意味します。）

分解禁止

⃠の記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。
⃠の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
（左の絵表示は分解禁止を意味します。）

電源プラグを
コンセントから抜け

●の記号は、しなければならない行為を示しています。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。
（左の絵表示は電源プラグをコンセントから抜け、という指示です。）

⚠ 警　告

● 本機を取り付け、使用する際は、必ずプロジェクターおよび周辺機器メーカーが指示する警告・注意指示に従ってください。

警　告

● 本機の取り付け/ 取り外しをするときはプロジェクター、周辺機器の電源スイッチをOFF にし、電源プラグをAC コンセントから抜いてください。
電源プラグがコンセントに接続されたまま取り付け/ 取り外しを行うと、感電および故障の原因になります。

警　告

● 本機の分解や改造や修理を自分でしないでください。火災や感電、故障の原因になります。

分解禁止

● 煙が出たり変な臭いや音がしたら、プロジェクターおよび周辺機器の電源スイッチを切り、AC コンセントから電源プラグを抜き、販売店にご連絡ください。

電源プラグを
コンセントから抜け

● 本機を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。内部の部品が破損し、感電や火災、故障の原因になります。

禁　止

● 本機に付属するディスクは「CD-ROM」です。一般オーディオ用CDプレーヤーでは絶対に再生しないでください。大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカーを破損する恐れがあります。

警　告

⚠ 注　意

●ぬれた手で本機に触れないでください。プロジェクターおよび周辺機器の電源プラグが AC コンセントに接続されているときは、感電の原因になることがあります。

禁　止

●本機の近く（20 cm 以内）で携帯電話や PHS（簡易携帯電話）を使用しないでください。本機の仕様と異なる動作（誤動作）をする原因となります。

禁　止

目　次

はじめに 6

1. マルチカードイメージャーの機能について. 9

2. お使いになるまでの手順. 11

3. マルチカードメージャーの動作 13

マルチカードイメージャーの動作のしくみ 14
LANの接続様式 15

4. 各部の名称とはたらき・工場出荷設定・設置のしかた. . . . 17

各部の名称とはたらき. 18
工場出荷設定 19
設定値の確認 19
工場出荷設定への戻しかた 19
工場出荷設定の内容 20
設置のしかた 21
マルチカードイメージャーの取り付けかた 21
マルチカードイメージャーの取り外しかた 21
マルチカードの取り付けかた / 取り外しかた 22

5. ソフトウェアとインストール. 23

MCI Cliernt（MCI クライアント）について 24
Slide Converter（スライドコンバータ）について 24
ソフトウェアのインストール. 25

6. 有線LANの設定 29

準　備 30
ネットワーク環境の設定 30
設定方法 30
動作の確認. 32
パスワード設定 33

7. 無線LANの設定 35

準　備 36
ネットワーク環境の設定 36
設定方法 36
動作の確認. 38

8. ブラウザーでの設定 41

はじめに 42
ブラウザーの環境 42
ブラウザの環境設定 42
ブラウザーの起動 43
設定情報 43
簡単設定 45
詳細設定 47
TCP / IP の設定 47
無線の設定 48
E-mailの設定 49
システムパスワードの設定 50
ユーザーパスワードの設定 51
その他の設定 52
設定セットの変更 53
再起動 54

9. ネットワークを使って画像を展開する 55

ネットワークを使って画像を展開する 56
タスクトレイのアイコンについて 58
User 権限ログインについて 59

10. PJ Controller の使いかた 61

準　備 62
初期設定をする 64
E-mail の設定をする 65
プロジェクターの電源と状態 67
プロジェクターをコントロールする 69
メニュー 78

11. ネットワークビューワーの使いかた 79

ネットワークビューワーのしくみと信号の流れ 80
動作について 81
画像を提供するFTP サーバーの機能条件 82
画像の展開 82
PJ Controller から操作する 82
WEBブラウザーから操作する 84
プロジェクターで操作する 86

12. 付　録 89

問題と解決のための確認 90
用語解説 93
arp + ping コマンドによるアドレスの設定 94
仕　様 95

日本語

はじめに

はじめに

本書は基本的な取扱いおよび操作方法を記載しています。
本機をご使用になる前に、本書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

梱包内容の確認

箱の中には、以下のものが入っております。必ず開梱時に内容を確認してください。万一、不足する物がありましたら、お買い求め販売店までご連絡ください。

- □ Multi Card Imager 本体
- □ CD-ROM
- □ 使用説明書(2冊)

電波に関するご注意

本機を無線LANカードを使ってご使用になるときは、以下の事にご注意ください。
本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。本機は日本国内のみでご使用になれます。海外ではご使用になれません。

本機は2.4GHz帯の周波数を使用し、以下の産業機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

- ・産業・科学・医療用機器（ペースメーカー等）
- ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
  - １）構内無線局（免許を要する無線局）
  - ２）特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

本機を使用するまえに、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本機の使用周波数を変更するか、使用場所を変更し、電波干渉をしないようにしてください。
本機を分解・改造などしないでください、また、本製品に貼ってあるラベルをはがさないでください。法律で罰せられることがあります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の　基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用　することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

プロジェクターをネットワークでご使用になる場合の安全上のご注意

●プロジェクターに異常が認められた場合、速やかにプロジェクターの電源プラグをコンセントから抜き、点検を行なってください。異常のまま使用すると火災や事故の原因となる場合があります。

●ネットワークを利用し、プロジェクターを遠隔地に設置してご使用になるとき、定期的にプロジェクターの安全点検を行なってください。また、プロジェクターを遠隔地に設置する場合、設置する場所の環境に十分注意を払ってください。正しく設置しないと、火災や事故の原因となることがあります。詳しくはプロジェクターの使用説明書をご覧ください。

本機品使用上の注意

本機使用でのコンピューターの故障、トラブル、データの消失・破損、また取り扱いを誤った為に生じた本機の故障、トラブルは当社では一切責任を負いません。コンピューター等の大切なデータは必ず別ディスクへのバックアップの保存をお勧めいたします。

商標について

Windows、Windows95/98/Me、WindowsNT4.0/2000/XP、Internet Explorer は米国Microsoft Corporation の米国および、その他の国における登録商標または、商標、商品名です。Netscape Navigator、Netscape Communicator は、Netsape Communications Corporation 社の米国および、その他の国における登録商標または商標です。
説明書に記載のメーカー名および商品名は各社の登録商標です。

＊本書の記載内容を一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
＊本書に記載されている内容は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
＊説明書に記載の図面形状および画面表示は実際のものと異なる場合があります。

Chapter I

1. マルチカードイメージャーの機能について

マルチカードイメージャーの持つ機能について説明します。

日本語

マルチカードイメージャーは、プロジェクターを幅広いメディアで使うことを可能とするマルチインターフェース装置です。マルチカードイメージャー(本機)をプロジェクターへ装着し、別売のオプションカードを本機へ装着することにより、プロジェクターを以下のように使うことができます。

マルチカードイメージャーはLV-7215、 LV-7210 および LV-5210専用です。

無線LAN（別売 無線LANカード LV-WN02を装着）

離れた場所に複数のプロジェクターを設置し、これらのプロジェクターへ無線LANを使ってコンピュータから画像を転送できます。１台のコンピュータから最大５台のプロジェクターへ画像を転送することが可能です。また、これら　プロジェクターの操作・管理も無線LAN経由で行う事ができます。わずらわしい信号線をプロジェクターへ配線することなく、自由な位置でコンピューターを操作しながらプレゼンテーションを行うことができます。
また、無線LANアクセスポイントへの接続により、無線でLAN回線との接続もでき、LAN回線のない環境でも、新たなLAN回線の工事をすることなく、LANへの接続が可能です。ネットワークインタフェースはIEEE802.11b準拠、標準TCP/IP通信プロトコルをサポートしています。

有線LAN（別売 有線LANカード LV-WN01を装着）

LAN回線への直接接続が可能です。無線LANと同様に、LAN回線を通してプロジェクターへ画像の転送、プロジェクターの操作・管理ができます。標準TCP/IP通信プロトコルおよび10BASE-Tをサポートしています。

ネットワークビューワー（Network Viewer）

有線LAN、無線LANネットワーク環境のもとで、ネットワーク上に置かれたFTPサーバーの画像をネットワーク経由でプロジェクターから表示できます。

ビューワー（Viewer）(別売 コンパクトフラッシュ LV-WN03装着)

コンピュータ、映像再生機器を使う事なく、プロジェクター単体でプレゼンテーション画像を再生することができます。付属の画像編集ソフト、スライドコンバーター(Slide Converter)は、PowerPoint, Bitmap, JPEGなど各種画像データをビューワーで再生するプレゼンテーション画像データに編集します。また、ソフトのユニークな編集機能により、バラエティーに富んだプレゼンテーション画像を構成することができます。
ビューワーの使い方、スライドコンバーターについては、別冊の［ビューワーの使い方、スライドコンバーターの使い方］をご覧ください。

Chapter 2

2. お使いになるまでの手順

はじめにお読みください。
マルチカードイメージャーをお使いになるまでの準備とその手順を説明します。お使いになる環境に合わせて準備を行ってください。

マルチカードイメージャーは使う目的、使う環境によって、準備の手順が異なります。使う目的に合わせ、図の手順にて準備を行ってください。

STEP 1 パッケージを確認する

はじめに製品の添付品を確認ください。また、安全上の注意など、注意事項をよくお読みください。

STEP 2 各部の名称と機能を理解する

本体各部の名称とはたらきをよく確認します。

☞『4. 各部の名称とはたらき・工場出荷設定・設置のしかた』

また、マルチカードイメージャーの機能についてよく理解してください。

☞『1. マルチカードイメージャーの機能について』
☞『3. マルチカードイメージャーの動作』

STEP 3 本機を取り付ける

本機をプロジェクターに取り付け、ご使用目的の別売カードを マルチカードイメージャーへ取り付けます。

☞『4. 各部の名称とはたらき・工場出荷設定・設置のしかた』

※ 有線LANで使用する場合 .....有線LANカード(LV-WN01)を装着
※ 無線LANで使用する場合 .....無線LANカード(LV-WN02)を装着
※ ビューワーとして使用する場合 .....コンパクトフラッシュカード（LV-WN03）を装着
別冊の「ビューワーの使い方 / スライドコンバータの使いかた」をご覧ください。

STEP 4 ソフトウェアをインストールする

パソコンに必要なソフトウェア（MCI Client、 Slide Converter)をインストールします。

☞『5. ソフトウエアとインストール』

STEP 5 LAN の設定を行う

LAN の設定を行います。

有線LANで使用する場合 ☞『6. 有線LANの設定』
無線LANで使用する場合 ☞『7. 無線LANの設定』

詳しいLANの設定をする場合は、この後ブラウザーを使って行います。

☞『8. ブラウザーでの設定』

STEP 6 準備完了・プロジェクターを操作する

これで準備が完了しました。LANを使ってプロジェクターを操作します。

コンピュータ画像を表示するとき ☞『9.ネットワークを使って画像を表示する』
ネットワークサーバーの映像を映すとき ☞『11. ネットワークビューワーの使いかた』
プロジェクターを操作・調整・管理するとき ☞『10. PJ Controller の使いかた』
☞『8. ブラウザーでの設定』

Chapter 3

3.マルチカードイメージャーの動作

・マルチカードイメージャーの動作のしくみ
・LANの接続様式

日本語

マルチカードイメージャーの動作のしくみ

マルチカードイメージャーは、コンピュータ画面をそのまま転送する、画面キャプチャ方式を採用しています。このためアプリケーションソフトの制約が無く、多様な環境でご使用になれます。コンピュータ画面からプロジェクターへ画像が転送されるしくみは次のようになっております。（下図参照）

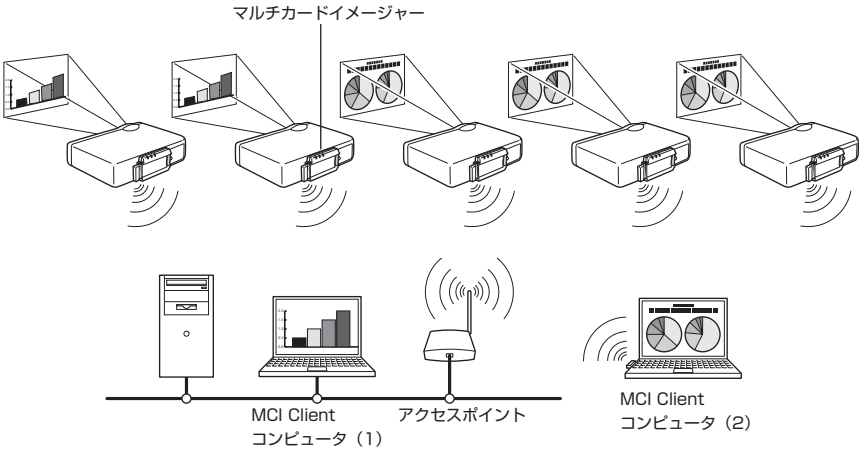
1. パソコンの画面を専用ソフト、MCI Clientを使用してリアルタイムに取り込みます。
2. 取り込まれた画像データは圧縮され、LAN（有線または無線）を経由してマルチカードイメージャーへ転送されます。1台のMCI Client コンピュータから最大5台のプロジェクターへの転送が可能です。
3. マルチカードイメージャーは転送されてきたデータをデジタルRGB信号にリアル変換し、プロジェクターのDVI入力端子へ出力します。

※ 画像は各プロジェクターへ順次転送されます。このため、各プロジェクターで投映される画像にはズレ（遅れ）が生じます。

ご注意： 本機はDirectXを使用したアプリケーション、MS-Officeアシスタント、DVDなどの動画再生には対応致しておりません。

マルチカードイメージャーのシステム構成図（一例）

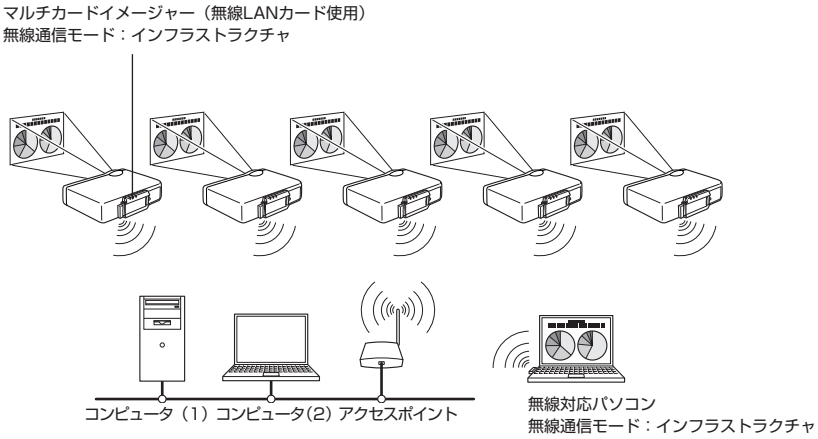
※ 図は無線LAN構成の一例です。コンピュータ（1）、またはコンピュータ（2）から任意のプロジェクターへの映像表示が可能。



LANの接続様式

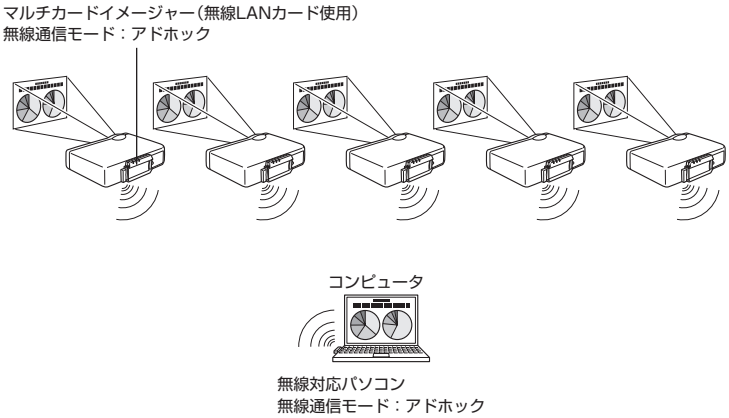
■　無線LAN　インフラストラクチャ（Infrastructure）通信モード

アクセスポイントを経由して有線LAN機器と無線LAN機器と通信を行います。また、アクセスポイントを経由して、無線LAN機器同士でも通信できます。無線LAN機器は、SSID/ESSIDで通信を行うアクセスポイントを指定します。これは無線LANと有線LANが混在しているネットワーク環境の場合に使用される通信モードです。



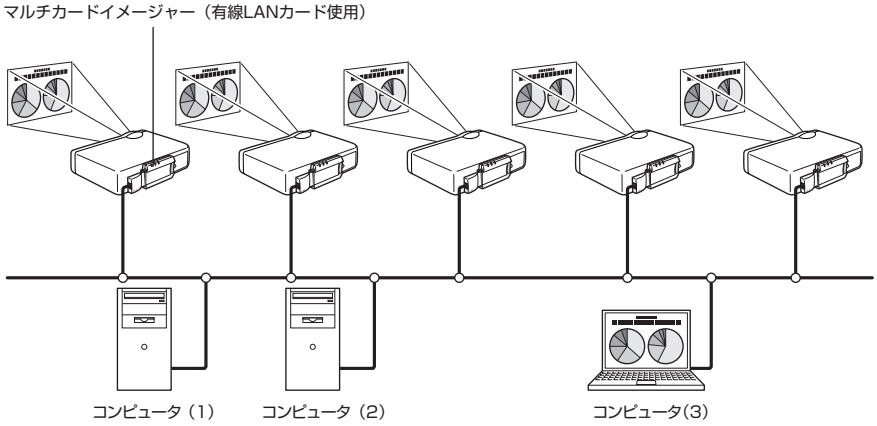
■　無線LAN　アドホック（ADHOC）802.11通信モード

無線LAN機器間で通信を行うモードです。　（SSID/ESSIDを使用して通信するモードです。）



■ 有線LAN通信モード

LAN回線を通して通信を行います。



✐ **プロジェクターに付属のリモコンでコンピュータのマウス操作ができます**✐

プロジェクターにマウス操作機能を持つリモコンが付属されている場合、このリモコンでコンピュータのマウス操作ができます。リモコンをプロジェクターに向けて操作します。マウス操作のためのUSBケーブルの接続は必要ありません。（リモコン操作の詳しくは、プロジェクターの使用説明書をご覧ください。）

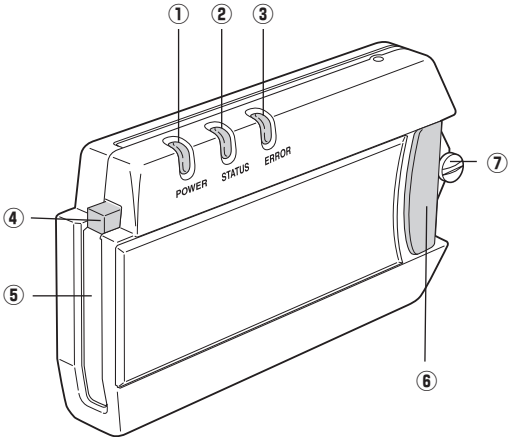
Chapter 4

4. 各部の名称とはたらき
工場出荷設定
設置のしかた

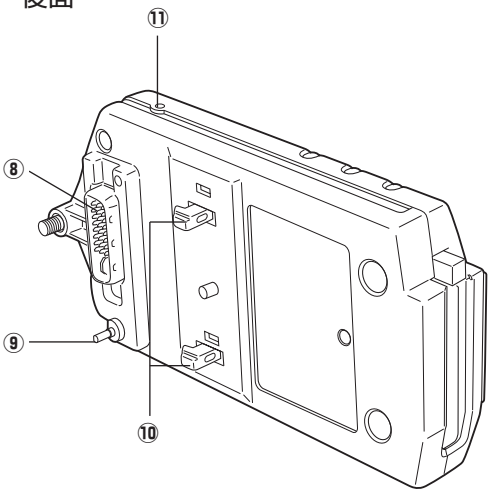
マルチカードイメージャーの各部の名称とそのはたらき、工場出荷設定、および設置のしかたを説明します。
機器を正しくご使用いただくために、説明をよくお読みのうえ正しい取り扱いと設置を行ってください。

各部の名称とはたらき

前面



後面



① POWER インジケータ（緑）
通常　：点灯
エラー：不特定

② STATUSインジケータ（黄）
通常　：パケット受信で点滅
（本機宛てのみ）
エラー：不特定

③ ERRORインジケータ（赤）
通常　：消灯
エラー：点灯

④ イジェクトボタン
マルチカードを取り出すときにこのボタンを押します。
※　マルチカード：無線/有線LANカード/コンパクトフラッシュカードを総称しています。

⑤ マルチカードスロット
マルチカードの挿入口です。

⑥ ラッチボタン
マルチカードイメージャーをプロジェクターに取り付け/取り外しする際に使用します。

⑦ 取り付けネジ
マルチカードイメージャーをプロジェクターに取り付け/取り外しする際に使用します。

⑧ コネクタープラグ
プロジェクターとマルチカードイメージャーのコネクタを接続します。

⑨ 取り付け検知ボタン
マルチカードイメージャーを取り付けたことをプロジェクターへ認識させるためのボタンです。

⑩ 取り付けフック
マルチカードイメージャーを本体に取り付けるためのフックです。

⑪ テストスイッチ
現在のLAN設定内容の確認や工場出荷設定にもどすスイッチです。詳しくは次ページ参照。

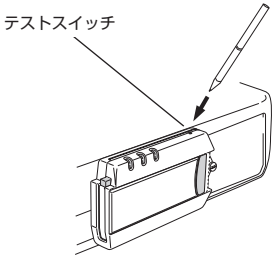
工場出荷設定

マルチカードイメージャーは、無線LAN環境に3セット(LAN 1～LAN 3)、有線LAN環境に3セット(LAN 4～LAN 6)のLAN環境をセットさせることができ、プロジェクターを使うLAN環境に合わせてこれを切り替えて使用する事ができます。
工場出荷の時、あらかじめLANの環境がセットされています。お使いの環境に近いLANを選択の上、LAN環境を合わせてお使いください。工場出荷時は無線LANは「LAN3」に、有線LANは「LAN4」にセットされています。（工場出荷設定（別表）参照）

設定内容の確認

マルチカードイメージャーが現在選択しているLANの設定内容が確認できます。

1) プロジェクターの電源を入れ、プロジェクターの入力をWireless(無線)、または、Wired(有線)にします。
2) テストスイッチ（穴の中）を細い棒で押します。（右図参照）
3) マルチカードイメージャーに設定されているLANの内容が10秒間スクリーンに映し出されます。



工場出荷設定への戻しかた

ユーザー設定を工場出荷設定に戻すことが出来ます。

1) プロジェクターの電源を入れ、プロジェクターの入力をWireless(無線)、または、Wired(有線)にします。
2) テストスイッチ（穴の中）を細い棒で約10秒間押し続け離すと、マルチカードイメージャーの全てのランプが点滅状態となり、工場出荷設定に戻ります。
   コンパクトフラッシュカード装着時やLANカードを装着していない時は工場出荷時設定に戻すことができません。

設定内容確認投映画面の一例（無線LANカード装着時）

※ WIRELESS SSID/ESSIDの表示は設定が小文字でも表示は全て大文字で表示されます。

※ 実際の画面と異なります。

```
 MULTI CARD IMAGER INFORMATION:
 MAIN PROGRAM:        VX.XX(XXXX/XX/XX)
 BOOT PROGRAM:        VX.XX(XXXX/XX/XX)
*CARD TYPE:           FCC/IC(US)
 MAC ADDRESS:         00C06FXXXXXX
 CONFIGURATION #:     LAN3
 IP ADDRESS:          192.168.100.100
 SUBNET MASK:         255.255.255.0
 GATEWAY ADDRESS:     255.255.255.255
 IP CONFIGURATION:    MANUAL
 ARP + PING:          ENABLE
*WIRELESS MODE:       802.11 ADHOC
*WIRELESS CHANNEL:    11
*WIRELESS SSID/ESSID: WIRELESS
*WIRELESS WEP:        DISABLE
```

* は有線LANカード装着時には表示されません。

日本語

工場出荷設定の内容

無線LANカード装着時　（工場出荷時は「LAN3」に設定されています。）

項目	工場出荷時の設定値		
	LAN 1	LAN 2	LAN 3
設定セット 〈CONFIGURATION #〉	〈LAN 1 〉	〈LAN 2 〉	〈LAN 3 〉
IPアドレス <IP ADRESS>	〈169.254.100.100〉	<192.168.100.100>	<192.168.100.100>
サブネットマスク <SUBNET MASK>	<255.255.0.0>	<255.255.255.0>	<255.255.255.0>
ゲートウェイアドレス <GATEWAY ADDRESS>	<255.255.255.255>	<255.255.255.255>	<255.255.255.255>
IPアドレスの設定方法 <IP CONFIGURATION>	手動設定 <MANUAL>	DHCP <DHCP>	手動設定 <MANUAL>
ARP+PINGによる IPアドレス設定 <ARP + PING>	有効 <ENABLE>	有効 <ENABLE>	有効 <ENABLE>
ワイヤレスモード <WIRELESS MODE>	アドホック <802.11 アドホック>	インフラストラクチャ <INFRASTRUCTURE>	アドホック <802.11 アドホック>
チャンネル <WIRELESS CHANNEL>	<11>	<11>	<11>
SSID/ESSID <WIRELESS SSID/ESSID>	WIRELESS <WIRELESS> （半角大文字）	ANY <ANY（使用中のSSID/ ESSIDを表示）>	WIRELESS <WIRELESS> （半角大文字）
WEP暗号化 <WIRELESS WEP>	無効 <DISABLE>	無効 <DISABLE>	無効 <DISABLE>
DNSドメイン	-	-	-
DNSアドレス	<255.255.255.255>	<255.255.255.255>	<255.255.255.255>

有線LANカード装着時（工場出荷時は「LAN4」に設定されています。）

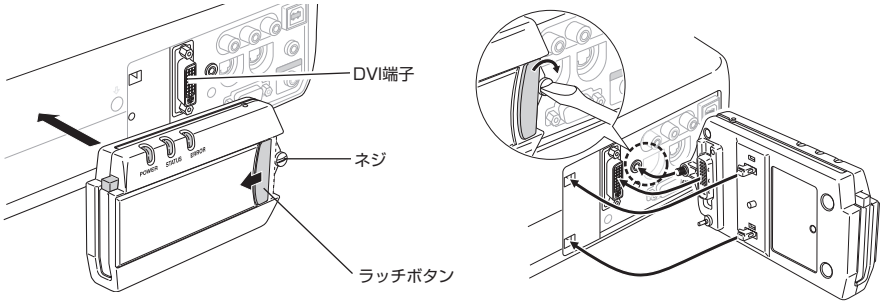
項目	工場出荷時の設定値		
	LAN4	LAN5	LAN6
設定セット 〈CONFIGURATION #〉	〈LAN4〉	〈LAN5〉	〈LAN6〉
IPアドレス <IP ADRESS>	〈169.254.100.100〉	<192.168.100.100>	<192.168.100.100>
サブネットマスク <SUBNET MASK>	<255.255.0.0>	<255.255.255.0>	<255.255.255.0>
ゲートウェイアドレス <GATEWAY ADDRESS>	<255.255.255.255>	<255.255.255.255>	<255.255.255.255>
IPアドレスの設定方法 <IP CONFIGURATION>	手動設定 <MANUAL>	DHCP <DHCP>	手動設定 <MANUAL>
ARP+PINGによる IPアドレス設定 <ARP + PING>	有効 <ENABLE>	有効 <ENABLE>	有効 <ENABLE>
DNSドメイン	-	-	-
DNSアドレス	<255.255.255.255>	<255.255.255.255>	<255.255.255.255>

※表中＜＞内の記載は画面およびメニューに表示される名称です。

設置のしかた

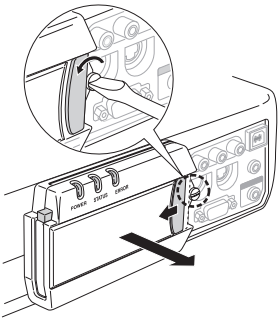
マルチカードイメージャーの取り付けかた

1. マルチカードイメージャーのラッチボタン（下図左）を押しながら、マルチカードイメージャーのコネクタープラグをプロジェクターのDVI端子に、また、マルチカードイメージャーの取り付けフックをプロジェクターの穴の中に押し込みます。
2. コネクターがプロジェクターのDVI端子に正しく取り付いた状態で、ラッチボタンを放します。
3. マイナスドライバーでネジを締め付け、マルチカードイメージャーをプロジェクターに固定します。



マルチカードイメージャーの取りはずしかた

1. ネジをゆるめます。
2. ラッチボタンを押しながら、マルチカードイメージャーをプロジェクターから引き抜きます。



マルチカードの取り付けかた・取りはずしかた

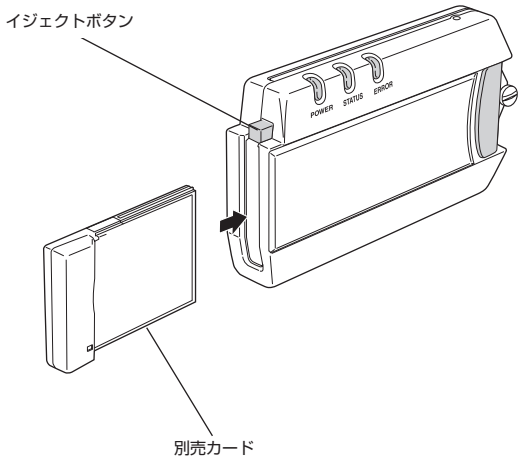
・取り付けかた

マルチカードイメージャーのカードスロットに指定のマルチカードを奥までしっかりと挿入します。（イジェクトボタンが出た状態になります。）

【注意】 指定以外のマルチカードを挿入しないでください。指定以外のマルチカードでは正しく動作しません。また、機器 の故障の原因となります。

・取りはずしかた

イジェクトボタンを押します。カードがはずれ取りだすことができます。



Chapter 5

5. ソフトウェアとインストール

マルチカードイメージャーを使うためのソフトウェアのインストールを行います。
添付されているCD-ROMには次の 2 つのソフトウェアが入っています。

・MCI Client（MCI クライアント）
無線LAN、有線LANを使ってプロジェクターに映像を表示したり、プロジェクターの操作・管理を行うソフトウェアです。
本章ではこのソフトウェアのインストールを行います。
MCI Client をインストールせず、直接CD-ROMドライブからソフトウェアを起動して使うこともできます。

・Slide Converter（スライドコンバータ）
マルチカードイメージャーをビューワー（Viewer）として使うとき、画像編集に使うユーティリティーソフトです。
ビューワーの詳しくは、別冊の「Viewerの使いかた/Slide Converter の使いかた」をご覧ください。

MCI Cliernt（MCI クライアント）について

MCI Client は、コンピュータの表示画面を有線LAN/無線LANを経由して、マルチカードイメージャーを装着したプロジェクターから投映したり（最大 5 台まで同時に投映可能）、プロジェクターの操作や設定、管理を遠隔操作で行うソフトウェアです。
コンピュータがマルチカードイメージャーを装着したプロジェクターへ画像を送信したり、プロジェクターを操作している間は、他のコンピュータからそのプロジェクターの操作はできません。

DirectXを使用したアプリケーション、MS-Officeアシスタント、DVDなどの動画再生には対応しておりません。

動作環境

本ソフトウェアは、以下のコンピュータ環境で動作致します。

本アプリケーションの対応OS	Windows 98 / Me / NT4.0 / 2000 / XP
Windows 98 / Me / NT4.0 / 2000 使用時の必要条件	RAM 64MByte以上のメインメモリ(ただし、同時に実行するアプリケーションによっては、さらに必要になる場合もあります。)
Windows XP Home Edition / Professional 使用時の必要条件	RAM 128MByte以上のメインメモリ(ただし、同時に実行するアプリケーションによっては、さらに必要になる場合もあります。)
パソコンの推奨CPU	Pentium3 600MHz相当以上
パソコンのHDD(ハードディスクドライブ)	100MByte以上の空き容量
パソコンのディスプレイ設定	VGA（640×480)、SVGA(800×600)、XGA（1024×768）のうち１つ以上の解像度をサポートしていること。色数は16ビット（65536色)、24/32ビット（1677万色）のいずれかであると。

Slide Converter（スライドコンバータ）について

プロジェクターのビューワー機能で再生する画像の編集ソフトです。詳しくは別冊の「Viewer の使いかた・Slide Converter の使いかた」をご覧ください。
ソフトウェアのインストールは本章の手順に従ってください。

ソフトウェアのインストール

ソフトウェア(MCI Client / Slide Converter)のインストールを行います。

【メモ】MCI Client をインストールせずに直接CD-ROMドライブから起動して使う場合は、インストール手順3で「MCIクライアントを起動します」を実行します。

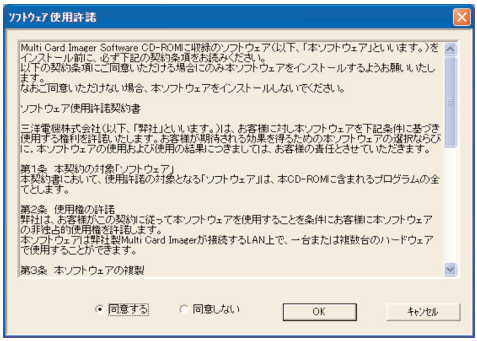
1. ソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

ソフトウェアが自動的に起動し、言語を選択する画面が表示されるのでプルダウンメニューから言語を選択して「OK」ボタンをクリックします。

【メモ】 言語の選択画面が自動的に表示されない場合、パソコンのマイコンピュータの CD-ROM ドライブを開いて、「 AutoRun.exe 」を起動してください。言語の選択画面が表示されます。

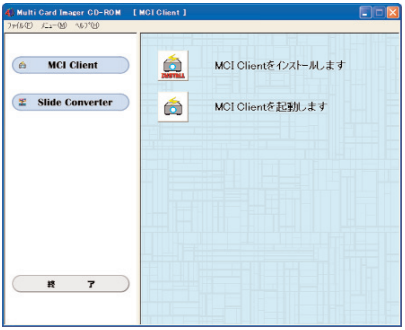
2.「ソフトウェア使用許諾」画面が表示される

内容をよくお読みの上、使用許諾内容に同意いただける場合は「同意する」のラジオボタンにチェックを入れ「OK」をクリックしてください。



3. メインメニュー画面が表示される

左側のメニューから「MCI Client」を選択してメニューを表示します。

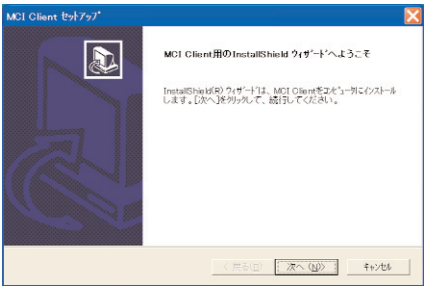


【注意】 MCI Client とSlide Converterは同時にインストールできません。それぞれインストールしてください。 Slide Converter をインストールする場合は、左側のメニューから「Slide Converter」ボタンをクリックし、メニューを表示します。

4.「MCI Clientをインストールします」をクリックする

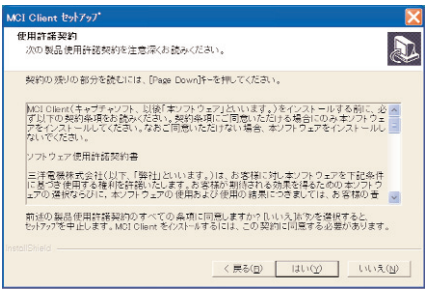
MCI Client 用インストールウィザードが起動します。「次へ」をクリックします。

※ MCI Cliernt を CD-ROM から直接起動する場合は、「MCI Client を起動します」をクリックします。



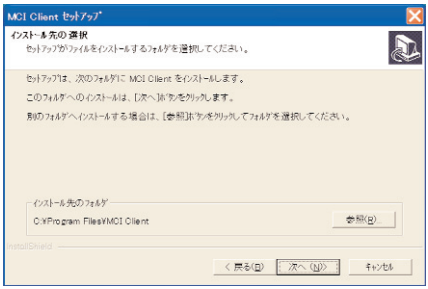
5.「使用許諾契約」画面が表示される

内容をよくお読みいただき、使用許諾内容に同意いただける場合は「はい」クリックしてください。



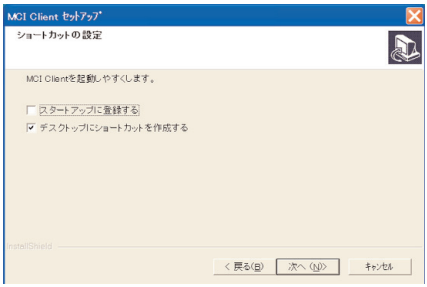
6. インストール先を選択する

インストール先の選択画面が表示されます。インストール先のフォルダに問題が無ければ「次へ」をクリックします。



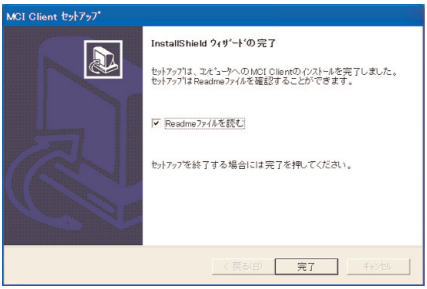
7. ショートカットを設定する

ショートカットの設定画面が表示されます。ショートカットの設定が不要であればチェックをはずして「次へ」をクリックします。CD-ROMよりファイルのコピーが開始されます。



8. インストールウィザードを終了する

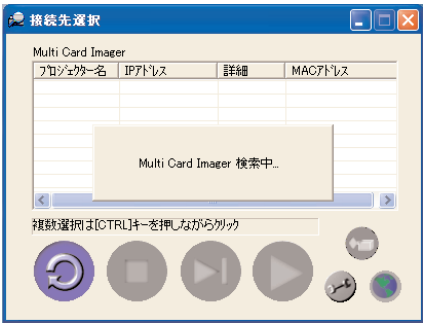
ファイルのコピーが完了するとインストール完了の画面が表示されるので「完了」をクリックして、インストールウィザードを終了します。
この後表示される Readmeファイルも必要に応じてお読みください。



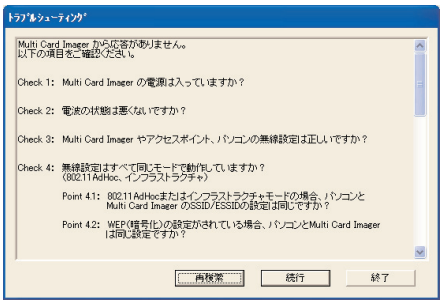
9. MCI Client が正しくインストールされたことを確認する

コンピュータの【スタート】→【プログラム】→【Multi Card Imager】→【MCI Client】もしくはデスクトップ上のショートカットから、 MCI Client を立ち上げます。下の画面が表示されれば、インストールが正常に行われました。画面右上の ボタンをクリックして閉じます。

※ この時点ではMCI Client は動作しません。下図のようなエラー表示が表示されます。



【エラー表示】



Chapter 6

6. 有線LANの設定

プロジェクターを有線LANで使うための準備と、LAN環境の設定のしかたを説明します。
マルチカードイメージャーを有線LANで使うには以下の別売カードを使います。

有線LANカード：LV-WN01

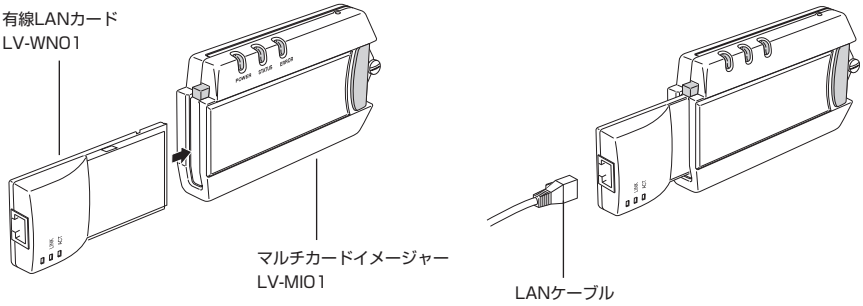
日本語

準　備

マルチカードイメージャーは、操作するMCI Client をインストールしたコンピュータと同じLAN上に設置されている必要があります。

1. 別売の有線LANカード：LV-WN01をマルチカードイメージャーへ取り付けます。

2. LANケーブルを有線LANカードへ差し込みます。
   LANカードおよびマルチカードイメージャーの各インジケータのはたらきを理解ください。



ネットワーク環境の設定

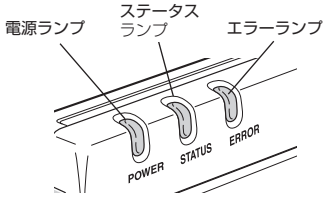
有線LANのネットワーク環境の設定はプロジェクターのメニューから行います。
設定内容の変更、また、詳細な設定はブラウザーを使って行うことができます。詳しくは、「8.ブラウザーでの設定」を参照ください。

設定方法

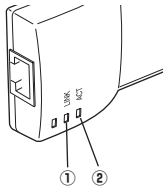
1. プロジェクターの電源を入れ、メニューの入力で有線（Wired）を選択する

有線LANがメニューに表示されない場合、有線LANカードがマルチカードイメージャーに正しく取り付けられていない可能性があります。取り付けを確認してください。

【注意】 マルチカードイメージャーの電源（POWER）ランプが点灯していることを確認ください。また、エラー（ERROR）ランプが消灯 していることを確認ください。
電源ランプが点灯していない、もしくはエラーランプが点滅している場合、マルチカードイメージャーの取り付けを確認し、プロジェクターの電源を入れ直してください。



【マルチカードイメージャー】



① LNK　常時点灯
② ACT
　データ送受信時に点滅

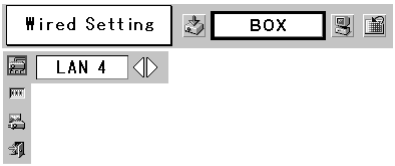
【有線LANカード】

2. 「Wired Setting」を選択する

プロジェクターのリモコンまたは操作パネルのMENUボタンを押してメニューバーを出し、ポイント左右ボタンでポインタを「Wired Setting」にあわせます。

3. 希望するLANを選択する

プロジェクターのリモコンまたは操作パネルのポイント左右ボタンで、希望するLAN（４～６）を選択します。ポイントボタンを押す毎に「LAN４」「LAN５」「LAN６」「オフ」が順番に切り換わります。切り換え中、「しばらくお待ち下さい」という表示がでます。



LAN選択について

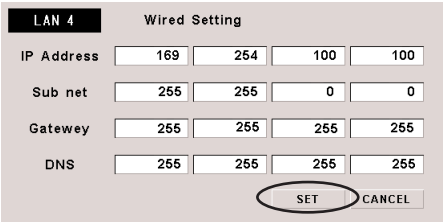
LANの設定環境は工場出荷時に３つのセット環境（LAN４、LAN５、LAN６）が予め用意されており、工場出荷時はLAN４に設定されています。工場出荷時の設定内容については「4.工場出荷設定」の項を参照ください。設定する内容にもっとも近いLAN設定を選択します。
IPアドレスを手動で設定するときは、LAN４もしくはLAN６を選択してください。ネットワークにDHCPサーバがあり、これにてIPアドレスを割り当てている場合はLAN５を選択してください。

4. SET ボタンを押す

LAN設定画面が現れ、選択したLANの設定内容が表示されます。各項目を設定します。
数値の変更はポイント上下ボタン、項目の変更はポイント左右ボタンで行います。
（各項目の設定の詳しくはシステム管理者にご相談ください。）

5. LAN設定画面の「SET」 を選択し設定を完了する

プロジェクターのリモコンまたは操作パネルのポイント左右ボタンで、LAN設定画面の「SET」を選択し設定を完了します。この後、有線LANが正しく設定され動作しているかの確認を行います。（次ページ）

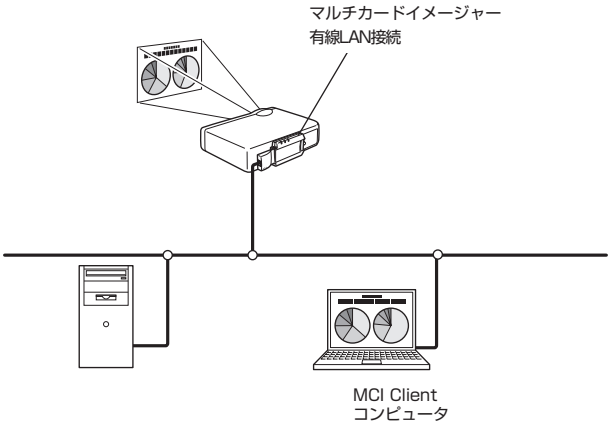


※図は工場出荷時（LAN４）の設定値です。

※ IP アドレスの設定は Windows のコマンドを使っても行うことができます。（P94参照）

日本語

動作の確認



1. MCI Client を起動する

コンピュータの【スタート】→【プログラム】→【Multi Card Imager】もしくはデスクトップのショートカットからMCI Client を立ち上げます。

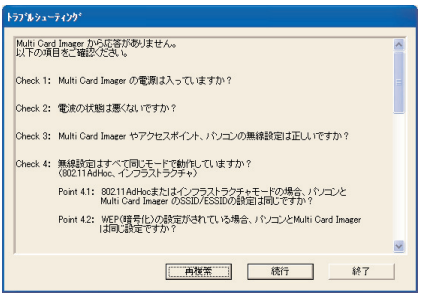
2. 正常に設定されていることを確認する

マルチカードイメージャーのIPアドレス表示がMCI Clientに表示されれば有線LANは正常に設定されています。

【注意】「Multi Card Imager 検索中」のあと、トラブルシューティングの画面が表示された場合、ネットワークは正しく設定されていません。
もう一度プロジェクターでネットワークの設定内容を確認してください。
ルーターを越えたセグメントの異なる場所へ設置されている プロジェクター には接続できません。接続するには新たに IP アドレスの設定が必要です。「7. 無線LANの設定」の「動作の確認」（P38）をご覧ください。

【メイン画面】

【エラー画面】



パスワード設定

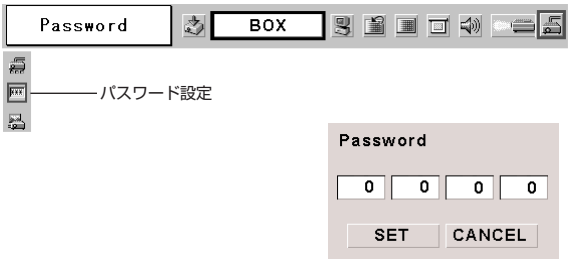
ネットワークを通じて本機へのアクセスを制限するパスワードを設定します。
パスワードを入力すると、ネットワークで本機を操作するとき、パスワードが要求されます。

1. パスワード設定ダイアログを表示させる

プロジェクターのリモコンまたは操作パネルを使用し、パスワード設定アイコンを選択し、SETボタンを押す。

2. パスワードを設定する

プロジェクターのリモコンまたは操作パネルのポイントボタンを使用し、パスワードを数字 4 桁入力してください。数値変更は上下、項目変更は左右で設定します。設定の完了はSETを選択し、SETボタンを押してください。(「0000」はパスワード無しの設定となります。)



本機をネットワークに接続する場合、パスワードの設定をおすすめします。パスワードの確認・変更は「8.ブラウザーでの設定」でも行う事もできます。

7. 無線LANの設定

プロジェクターを無線LANで使用するための、LAN環境の設定を行います。無線LANで使うには以下の別売カードが必要です。

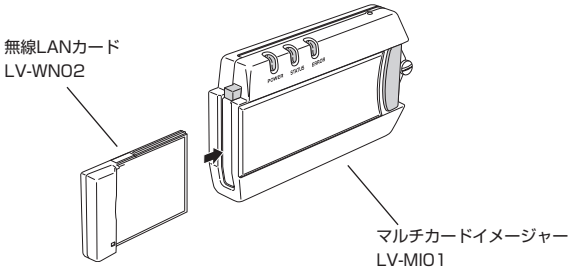
無線LANカード：LV-WN02

無線LANをご使用になるには、操作するコンピューターはIEEE802.llbに準拠した無線LANカード（アダプタ）を備え、無線LANが使える環境にあることが必要です。
また、アクセスポイントを使ったインフラストラクチャモードでお使いになるにはIEEE802.llbに準拠したアクセスポイントが必要です。

準　備

マルチカードイメージャーは、操作するMCI Client をインストールしたコンピュータと同じLAN上に設置されている必要があります。

別売の無線LANカード：LV-WN02 をマルチカードイメージャーへ取り付けます。
※LANカードおよびマルチカードイメージャーの各インジケータのはたらきをご理解ください。



ネットワーク環境の設定

はじめに、マルチカードイメージャーを無線LANでお使いになる場合、無線LAN環境をご確認ください。無線 LAN の様式については、「3. マルチカードイメージャの動作」の「LANの接続様式」をご覧ください。

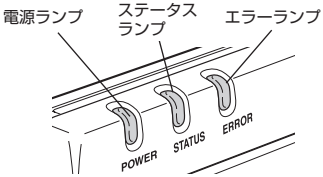
無線 LAN ネットワーク環境の設定はプロジェクターのメニューから行います。
詳細な設定は、ブラウザーを使って行うことができます。詳しくは、「8．ブラウザでの設定」をご覧ください。

設定方法

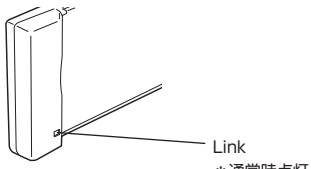
1. プロジェクターの電源を入れ、入力メニューから「Wireless」（無線）を選択する

「Wireless」がメニューに表示されない場合、無線LANカードがマルチカードイメージャーに正しく取り付けられていない可能性があります。取り付けを確認してください。

【注意】マルチカードイメージャーの電源（POWER）ランプが点灯していることを確認ください。また、エラー（ERROR）ランプが消灯していることを確認ください。 電源ランプが点灯していない、もしくはエラーランプが点滅している場合、マルチカードイメージャー取り付けを確認し、プロジェクターの電源を入れ直してください。



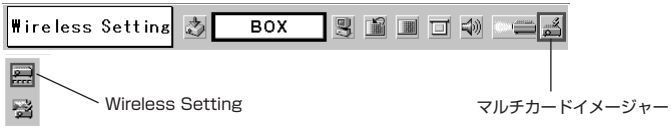
【マルチカードイメージャー】



【無線LANカード】

2. Wireless Setting（無線LAN設定）を選択する

プロジェクターのリモコンまたは操作パネルのMENUボタンを押してメニューバーを出し、ポイント左右ボタンでポインタを「Wireless Setting」にあわせます。



3. LANを選択する

プロジェクターのリモコンまたは操作パネルのポイント左右ボタンで、希望するLAN（1～3）を選択します。ポイントボタンを押す毎に「LAN1」「LAN2」「LAN3」「オフ」が順番に切り換わります。切り換え中、「しばらくお待ち下さい」という表示が出ます。**工場出荷時はLAN 3（AdHocモード）に設定されています。**

本章ではLAN 3 の設定に基づいて説明いたします。

LAN選択について

マルチカードイメージャーには 3 つのセット環境（LAN1、LAN2、LAN3）が予め用意されており、工場出荷時はLAN3に設定されています。工場出荷時の設定内容については「4. 工場出荷設定」の項を参照ください。

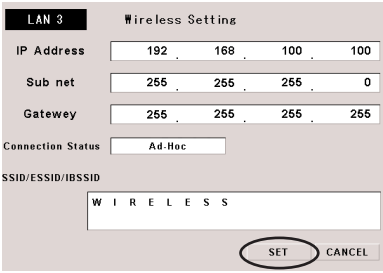
4. LAN設定画面を表示する

SETボタンを押し、LAN設定画面を表示します。選択したLANの設定内容が表示されます。所定の情報を入力します。（各項目の設定の詳しくはシステム管理者にご相談ください。）

【工場出荷設定（LAN3）を使用する場合】

a) IP アドレス(IP Address)←IPアドレスを入力します。
b) サブネットマスク(Sub Net)←入力の必要ありません。
c) ゲートウェイ(Gateway)←入力の必要ありません。
d) 通信モード(Connection Status)←AdHocのままとします。
e) SSID/ESSID/IBSSD←文字などを入力します。（初期値は「WIRELESS」になっています）

※ a) は他の無線LAN(AdHocモード)対応コンピューターのIPアドレスと重ならないものをご使用ください。
※ e)はお使いになる無線LAN対応コンピューターの設定と合わせる必要があります。プロジェクターをコンピューターに合わせるか、またはコンピューターをプロジェクターに合わせてください。プロジェクターのSSID/ESSID/IBSSDの初期設定記号は“WIRELESS”になっています。コンピューターのワイヤレスチャンネルが11チャンネルになっているか確認ください。
※ b), c)はAdHocモードでは設定の必要ありません。初期設定の画面のままお使いください。



※図は工場出荷時(LAN3)の設定値です。

設定画面の数値入力、文字入力のしかた

ポイント左右ボタンで移動を行い、ポイント上下ボタンで数値および内容の変更、またSSID/ESSID/BSSD 項目の文字選択を行います。文字はポイント上下ボタンで、A-Z、a-z、ブランク（スペース）から選択できます。次の文字への移動はポイント左右ボタンで行います。

入力項目と設定内容

項目	説明
IP Address	使用する環境下でのIP アドレスを設定します。
Sub Net	使用する環境下でのサブネットマスクを設定します。
Gateway	使用する環境下でのゲートウェイアドレスを設定します。 ※ルーターを越えない同じセグメント内で使用する場合、[255.255.255.255]で問題ありません。
Connection Status	使用する通信モードに合わせて設定します。 ※「Infrastructure」または「AdHoc」を選択します。
SSID/ESSID/IBSSID	「Infrastructure」、「AdHoc」とも、本機、アクセスポイントおよび無線対応コンピュータのいづれにも同じ文字を入力する必要があります。(最大32文字) SSID/ESSID は 大文字、小文字、スペースが区別されます。それぞれに同じ文字を入力してください。※ マルチカードイメージャーにANYの設定は推奨できません。

※ IP アドレスの設定は Windows のコマンドを使っても行うことができます。(P94参照)

5. LAN設定画面の「SET」 を選択し設定を完了する

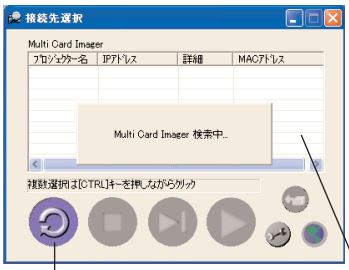
動作の確認

プロジェクターのマルチカードイメージャーが正しく設定され無線LANが正常に動作しているかを確認します。

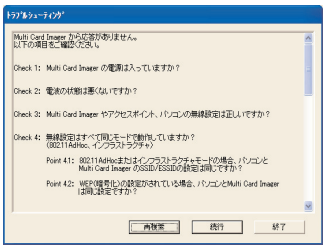
1. コンピュータの MCI Client を起動する

コンピュータの【スタート】→【プログラム】→【Multi Card Imager】もしくはデスクトップのショートカットからMCI Client を立ち上げます。
マルチカードイメージャーの検索がはじまり、MCI Clientのウィンドウに設定を完了したプロジェクターのIPアドレスが表示されます。IPアドレスが表示されれば、プロジェクターは無線LANに正常に接続されています。検索中、トラブルシューティングダイアログが現れると、ネットワークは接続されていません。エラー画面に表示された内容を確認し、もう一度検索を行ってください。

【メイン画面】



【エラー表示】



再検索　　ウィンドウ

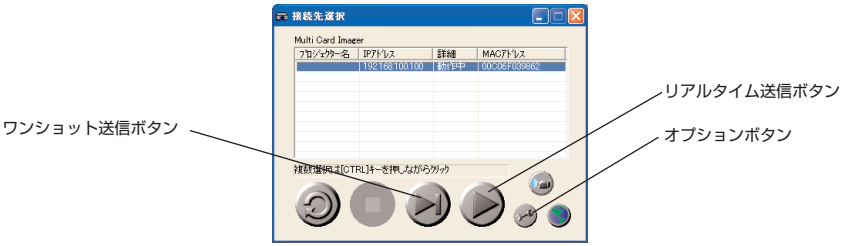
2. プロジェクターを指定する

メイン画面に表示されたプロジェクター（IPアドレス）をマウスカーソルで指定します。指定されたプロジェクターが反転して表示されます。

3. 送信ボタンをクリックする

ワンショット送信ボタン、または、リアルタイム送信ボタンを押します。コンピューターの画面がプロジェクターより投映されれば設定が正常に完了しています。

※ ワンショット送信はコンピューターの「[Ctl] ＋ [F1] キーで、リアルタイム送信は [Ctl] ＋ [Shift] ＋ [F1] キーで行うことができます。押す毎に、実行、停止します。



インフラストラクチャモードで、プロジェクターがルーターを越えた違うセグメントの場所へ設置されている場合、プロジェクターに接続できません。この場合以下の手順で直接IPアドレスを指定し、接続します。

1. オプションボタンをクリックする

メイン画面のオプションボタンを押します。
オプション設定画面が出ます。追加ボタンをクリックしIPアドレス入力画面を表示します。

2. IPアドレスを指定する

プロジェクターに設定したIPアドレスを入力します。(例；192.168.100.100)
OKボタンを押します。

3. オプション設定画面に入力したIPアドレスが表示される

OKボタンを押します。オプション設定画面が閉じ、メイン画面に戻ります。
画面に設定したプロジェクターのIPアドレスと、「手動追加」の文字が出ます。これで設定完了です。

【オプション設定画面】

【メモ】 プロジェクターで表示されている以外の詳しいネットワーク情報の設定は、ブラウザーで設定します。「8. ブラウザーでの設定」をご覧ください。これらの設定の詳しくはシステム管理者にご相談ください。

Chapter 8

8. ブラウザーでの設定

ブラウザーを使ってマルチカードイメージャーの設定、操作、管理ができます。

注意： ブラウザーを使ってマルチカードイメージャーを操作する場合、マルチカードイメージャーとブラウザーで操作するコンピュータが有線LAN、または無線LANで接続されている必要があります。あらかじめLANの接続を完了しておいてください。

ブラウザーで以下の設定・操作を行います。

- LANの設定
  有線LAN、無線LANの設定を行います。
- E-mailの設定
  プロジェクターを遠隔管理するためのE-mail 機能の設定を行います。
- ネットワークビューワーの操作
  ネットワークサーバーに置かれた画像データの表示と操作を行います。
  この機能の説明は「11. ネットワークビューワーの使い方」で説明しています。
- パスワードの設定
  マルチカードイメージャーを管理するセキュリティーパスワードの設定を行います。
- その他
  管理する各マルチカードイメージャーの名称の設定と変更

はじめに

ブラウザーで操作するには、操作するブラウザーの準備と、ブラウザーの環境設定が必要です。
ブラウザーの環境を確認のうえ、その環境をマルチカードイメージャーが操作できる環境に設定してください。

ブラウザーの環境

操作する各ブラウザーは以下のバージョンに対応している必要があります。

Microsoft社製　Internet Explorer Ver.4.0以上
Netscape Communications社製　Netscape Navigator Ver.4.6以上

ブラウザーの環境設定

ブラウザーの動作環境の設定を行います。設定を正しく行っていないとブラウザーでの操作は正しく行えません。

プロキシサーバを使用している場合

【Internet Explorerの場合】

Internet Explorerを起動し、「ツール」→「インターネットオプション」→「接続」タグを選択→「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」欄の「LAN設定」ボタンをクリック→「プロキシサーバー」欄の「詳細」ボタンをクリック→「次で始まるIPアドレスにはプロキシを使用しない」欄にマルチカードイメージャーのIPアドレスを入力してください。

【Netscape Navigatorの場合】

Netscape Navigatorを起動し、「編集」→「設定」→「カテゴリ」欄の中の「詳細」の「プロキシ」を選択→「手動でプロキシを設定する」にチェックを入れ、「表示」ボタンをクリック→「次ではじまるドメインにはプロキシサーバを使用しない」欄にマルチカードイメージャーのIPアドレスを入力してください。

プロキシサーバを使用していない場合

【Internet Explorerの場合】

Internet Explorerを起動し、「ツール」→「インターネットオプション」→「接続」タグを選択→「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」欄の「LAN設定」ボタンをクリック→「プロキシサーバー」欄の「プロキシサーバーを使用する」のチェックが入っていないことを確認してください。

【Netscape Navigatorの場合】

Netscape Navigatorを起動し、「編集」→「設定」→「カテゴリ」欄の中の「詳細」の「プロキシ」を選択→「インターネットに直接接続する」にチェックが入っていることを確認してください。

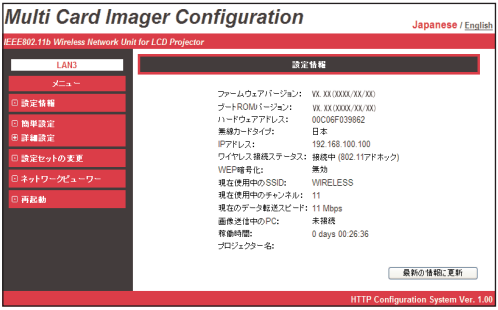
ブラウザーの起動

MCI Client を立ち上げ、「接続先選択」から設定・操作を行うプロジェクターを選択して、「設定」ボタンを押してブラウザー起動します。選択したマルチカードイメージャーの設定画面（Multi Card Imager Configuration）画面が出ます。
MCI Client を使わず、ブラウザーから直接MCIメニューを立ち上げることも出来ます。この場合、ブラウザーのURLにマルチカードイメージャーのIPアドレスを入力します。
MCI設定画面の左側メニューが操作する各項目のメニューです。ここで操作する項目を選択します。

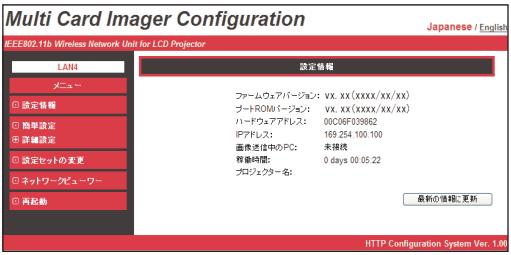
設定情報

現在マルチカードイメージャーに設定されているステータス（設定環境）が表示されます。無線LAN環境時と、有線LAN環境時では、表示内容が異なります。

【無線LANカード装着時の表示画面】



【有線LANカード装着時の表示画面】



【設定情報で表示される項目】

項目	詳細
ファームウェアバージョン	MCIのファームウェアバージョンを表示します。
ブートROMバージョン	MCIのブートROMバージョンを表示します。
ハードウェアアドレス	MCIのMACアドレスを表示します。
無線カードタイプ(*)	MCIの無線カードタイプを表示します。 「US」以外に変更できません。
IPアドレス	MCIに現在設定されているIPアドレスを表示します。DHCPの設定をしている場合、DHCPサーバから取得したIPアドレスを表示します。
ワイヤレス接続ステータス(*)	MCIの無線通信モードとその状況を表示します。
WEP暗号化(*)	MCIのWEP（暗号化）の設定状況を表示します。 但し、WEPキーは表示されません。
現在使用中のSSID(*)	現在使用しているSSIDを表示します。
現在使用中のチャンネル(*)	MCIの現在通信を行っているチャンネルを表示します。
現在のデータ転送スピード(*)	MCIの現在の無線通信速度を表示します。 通信速度はその時の環境によって自動的（11Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbps）に変更されます。通信速度の設定（固定）はできません。
画像送信中のPC	現在、MCIにMCI Clientを使用して画像転送中のパソコンのIPアドレスを表示します。
稼働時間	MCIの電源投入時からの稼働時間を表示します。この時間は再起動や電源OFFするとリセットされます。
プロジェクター名	MCIに設定されたプロジェクター名（任意に設定可）を表示します。
「最新の情報に更新」ボタン	クリックすると、表示の内容が更新されます。

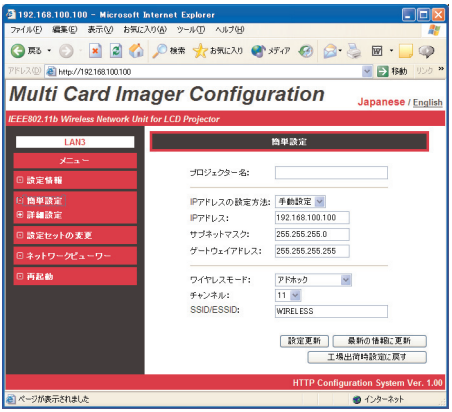
(*)有線LANカード装着時は、表示しません。

※「MCI」はマルチカードイメージャーを意味します。

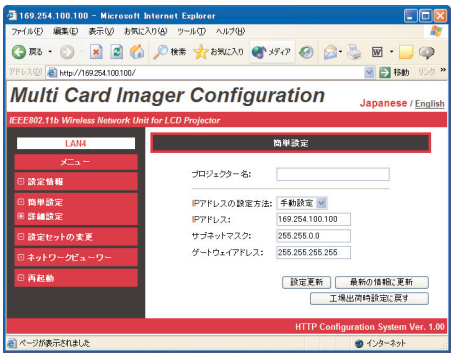
簡単設定

マルチカードイメージャーを使用するための最小限の項目が設定できます。ここで設定する内容は、詳細設定で設定する項目と共有になっております。詳細設定でこれらを設定する場合、ここでの設定は必要ありません。
無線LANカード装着時と、有線LANカード装着時では、設定内容、表示内容が異なります。
設定内容をマルチカードイメージャーをに反映するには、「設定更新」ボタンを押します。操作ボタンの詳しくは次ページを参照ください。

【無線LANカード装着時の表示画面】



【有線LANカード装着時の表示画面】



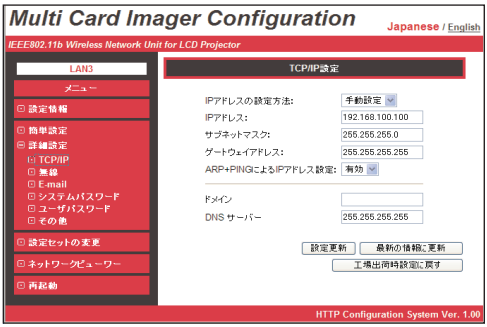
項目	詳細
プロジェクター名	複数のマルチカードイメージャーを使用する際、簡単に区別できるようにプロジェクターの名前を任意に設定できます。(半角32文字、日本語16文字以内) ここで設定したプロジェクター名は、MCI Clientの「接続先選択」の「プロジェクター名」一覧に表示されます。
IPアドレスの設定方法	IPアドレスの設定方法を「手動設定」/「DHCP」/「BOOTP」の中から選択します。 「DHCP」/「BOOTP」を選択した場合、それぞれ「DHCPクライアント」/「BOOTPクライアント」としてIPアドレスを自動的に取得します。この時、DHCPサーバ/BOOTPサーバがネットワーク通信できる環境下である必要があります。 「DHCP」/「BOOTP」を選択した場合、DHCPサーバ/BOOTPサーバから値を取得している最中に本体のテストスイッチを押して投映すると設定値のIPアドレス/サブネットマスク/ゲートウェイアドレスは「－．－．－．－」表示になります。DHCPサーバからの値の取得に失敗した場合もこの表示になり、MCIとは通信できません。BOOTPサーバからの値の取得に失敗した場合は既存の値に設定されます。
IPアドレス	使用する環境下でのIPアドレスを設定します。 「IPアドレスの設定方法」で「DHCP」/「BOOTP」を選択した場合は設定する必要はありません。
サブネットマスク	使用する環境下でのサブネットマスクを設定します。 「IPアドレスの設定方法」で「DHCP」/「BOOTP」を選択した場合、「DHCPサーバ」/「BOOTPサーバ」の設定によっては設定する必要はありません。
ゲートウェイアドレス	使用する環境下でのゲートウェイアドレスを設定します。 「IPアドレスの設定方法」で「DHCP」/「BOOTP」を選択した場合、「DHCPサーバ」/「BOOTPサーバ」の設定によっては設定する必要はありません。また、ルーターを越えたセグメントでのご使用がない場合は「255.255.255.255」のままで問題ありません。
ワイヤレスモード(*)	使用する環境下での無線通信モードを設定します。 「インフラストラクチャ」/「アドホック」のいずれかを選択します。
チャンネル(*)	802.11アドホックモードで使用する場合にはチャンネルを設定します。1～11のチャンネルから選択します。
SSID/ESSID(*)	SSID/ESSIDを設定します。(ASCII32文字以内) SSID/ESSIDは大文字、小文字の区別がされます。MCIのテストスイッチによる投映では全て大文字で表示されますが、ここでの設定は大文字/小文字の区別が必要です。
「設定更新」ボタン	設定した内容に問題なければ「設定更新」ボタンをクリックします。 「設定更新」ボタンをクリックすると再起動を促す画面を表示します。
「最新の情報に更新」ボタン	変更した内容をキャンセルします。
「工場出荷時設定に戻す」ボタン	簡単設定の項目を工場出荷時設定に戻すには「工場出荷時設定に戻す」ボタンをクリックします。

(*)有線LANカード装着時は、表示しません。

詳細設定

TCP / IP の設定

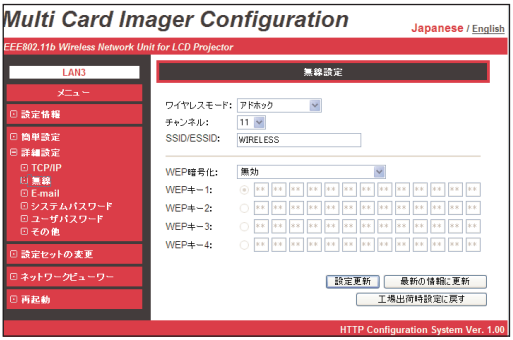
MCIのTCP/IP関連項目の詳細設定ができます。



項目	詳細
IPアドレスの設定方法	IPアドレスの設定方法を「手動設定」/「DHCP」/「BOOTP」の中から選択します。 「DHCP」/「BOOTP」を選択した場合、それぞれ「DHCPクライアント」「BOOTPクライアント」としてIPアドレスを自動的に取得します。この時、DHCPサーバ/BOOTPサーバがネットワーク通信できる環境下である必要があります。「DHCP」もしくは「BOOTP」を選択した場合、DHCPサーバ/BOOTPサーバから値を取得している最中に本体のテストスイッチを押して投映すると設定値のIPアドレス／サブネットマスク/ゲートウェイアドレスは「－．－．－．－」表示になります。DHCPサーバからの値の取得に失敗した場合もこの表示になり、MCIとは通信できません。BOOTPサーバからの値の取得に失敗した場合は既存の値に設定されます。
IPアドレス	使用する環境下でのIPアドレスを設定します。「IPアドレスの設定方法」で「DHCP」/「BOOTP」を選択した場合は設定する必要はありません。
サブネットマスク	使用する環境下でのサブネットマスクを設定します。「IPアドレスの設定方法」で「DHCP」/「BOOTP」を選択した場合、「DHCPサーバ」/「BOOTPサーバ」の設定によっては設定する必要はありません。
ゲートウェイアドレス	使用する環境下でのゲートウェイアドレスを設定します。 「IPアドレスの設定方法」で「DHCP」/「BOOTP」を選択した場合、「DHCPサーバ」/「BOOTPサーバ」の設定によっては設定する必要はありません。また、ルーターを越えたセグメントでのご使用がない場合は「255.255.255.255」のままで問題ありません。
arp+ping によるIPアドレス設定	コマンドプロンプトからarpコマンドとpingコマンドを利用したIPアドレスの設定を有効にするか無効にするかを選択します。(94ページ参照)
ドメイン	MCIが属するドメイン名を設定します。(ASCII254文字以内)
DNSサーバー	DNSサーバのアドレスを設定します。
「設定更新」ボタン	設定した内容に問題なければ「設定更新」ボタンをクリックします。 「設定更新」ボタンをクリックすると再起動を促す画面を表示します。
「最新の情報に更新」ボタン	変更した内容をキャンセルします。
「工場出荷時設定に戻す」ボタン	TCP/IP設定の項目を工場出荷時設定に戻すには「工場出荷時設定に戻す」ボタンをクリックします。

無線の設定

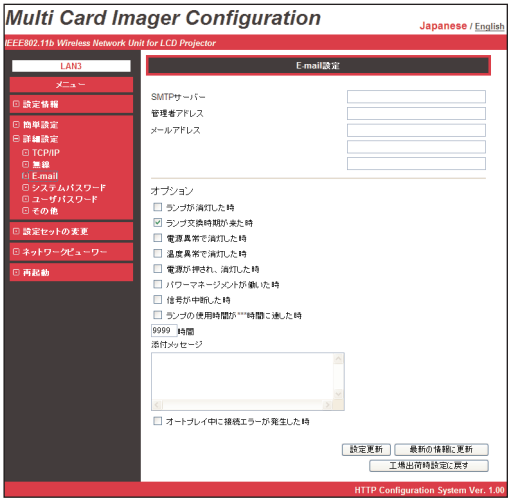
マルチカードイメージャーの無線関連項目の設定ができます。
有線LANカード装着時は表示されません。



項目	詳細
ワイヤレスモード	使用する環境下での無線通信モードを設定します。 「インフラストラクチャ」/「アドホック」のいずれかを選択します。
チャンネル	1～11のチャンネルから選択します。
SSID/ESSID	SSID/ESSIDを設定します。(ASCII32文字以内) SSID/ESSIDは大文字、小文字の区別がされます。MCIのテストスイッチによる投映では全て大文字で表示されますが、ここでの設定は大文字／小文字の区別が必要です。
WEP暗号化	WEP（暗号化）を使用する/しないを設定します。 WEPを使用する場合、そのWEPに合わせて「有効64(40)bit/Shared Key)」/「有効（64(40)bit/Open System)」/「有効（128(104)bit/Shared Key)」/「有効（128(104)bit/Open System)」の中から選択します。 WEP(暗号化)を使用すると、画像転送速度が低下します。
WEPキー１～キー４	WEPキーを16進数（0～F）で設定します。64(40)bitのWEPの場合は5バイト、128(104)bitのWEPの場合は13バイト設定します。 パソコンやアクセスポイントなどのWEPキーの形式でASCIIコードを使用しています。 WEPキーは４つ設定できますが、ラジオボタンをチェックした１つだけが有効です。有効にするWEPキーの番号とWEPキーの値の両方をパソコンやアクセスポイントと同じ設定にしてください。パソコンやアクセスポイントによってはWEPキーが１つしか設定できない場合もあります。その場合、MCIはWEPキー１を使用してください。
「設定更新」ボタン	設定した内容に問題なければ「設定更新」ボタンをクリックします。 「設定更新」ボタンをクリックすると再起動を促す画面を表示します。
「最新の情報に更新」ボタン	変更した内容をキャンセルします。
「工場出荷時設定に戻す」ボタン	無線設定の項目を工場出荷時設定に戻すには「工場出荷時設定に戻す」ボタンをクリックします。

E-mail の設定

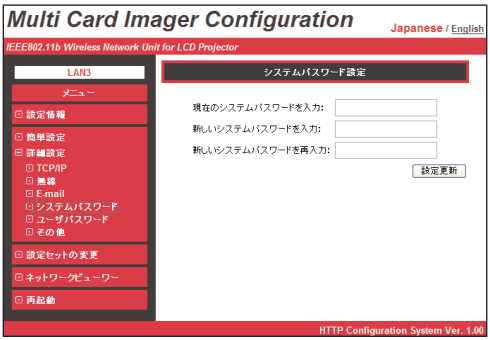
プロジェクターの動作状況をマルチカードイメージャーがE-Mailで管理者へ伝えるメール機能の設定です。この機能はAdHoc通信モードでは利用できません。E-mail機能が使えるのは有線LANと無線LANのインフラストラクチャ通信モードでマルチカードイメージャーとSMTPサーバがともに通信できるIPアドレスである必要があります。



項目	詳細
SMTPサーバ	SMTPサーバのアドレスを入力します。(ASCII254文字以内)
管理者アドレス	マルチカードイメージャーがE-mail送信するアドレス（管理者）を入力します。(ASCII254文字以内)
メールアドレス	マルチカードイメージャーがE-mail送信するアドレス（管理者以外）を入力します。(ASCII254文字以内)
オプション	選択したエラーが発生したときにE-mail送信します。
時間	「ランプの使用時間が***時間に達した時」の時間を設定します。
添付メッセージ	入力した文字列を「ランプの使用時間が***時間に達した時」のE-mailに添付します。(ASCII220文字以内)
「設定更新」ボタン	設定した内容に問題なければ「設定更新」ボタンをクリックします。「設定更新」ボタンをクリックすると再起動を促す画面を表示します。
「最新の情報に更新」ボタン	変更した内容をキャンセルする
「工場出荷時設定に戻す」ボタン	E-mail設定の項目を工場出荷時設定に戻すには「工場出荷時設定に戻す」ボタンをクリックします。

システムパスワードの設定

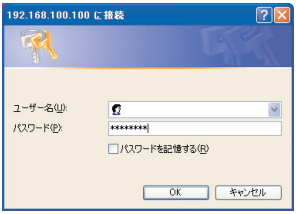
マルチカードイメージャーの設定内容を管理者以外が操作できないようにシステムパスワードを設定できます。工場出荷時の状態ではシステムパスワードは設定されていません。



項目	詳細
現在のシステムパスワードを入力	現在設定されているシステムパスワードを入力します。入力したパスワードは「●●●●●●●●」で表示されます。(ASCII16文字以内)
新しいシステムパスワードを入力	新しく設定したいシステムパスワードを入力します。入力したパスワードは「●●●●●●●●」で表示されます。(ASCII16文字以内)
新しいシステムパスワードを再入力	新しく設定したいシステムパスワードを再入力します。入力したパスワードは「●●●●●●●●」で表示されます。(ASCII16文字以内)
「設定更新」ボタン	設定した内容に問題なければ「設定更新」ボタンをクリックします。システムパスワードが更新されたメッセージが表示されます。

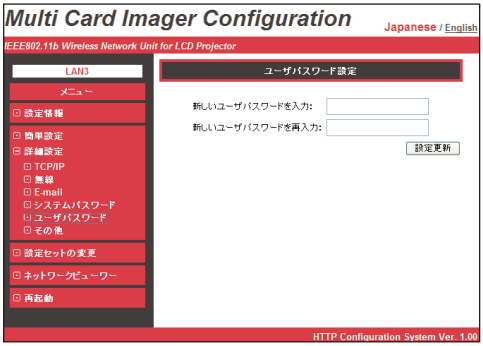
工場出荷時の状態ではシステムパスワードは設定されていないので、はじめてシステムパスワードを設定する場合、「現在のシステムパスワードを入力」欄には何も入力せず、「新しいシステムパスワードを入力」と「新しいシステムパスワードを再入力」欄に設定する新しいパスワードを入力します。

次回設定内容変更時には、パスワード要求画面を表示します。「ユーザー名」欄は空白のまま「パスワード」欄に設定したパスワードを入力します



ユーザーパスワードの設定

ユーザパスワード設定画面ではプロジェクターに画面転送を行うときおよびPJ Controllerを起動するときのユーザパスワードを設定できます。
システムパスワードとユーザパスワードは異なるパスワードが設定可能です。
ユーザパスワードを再設定する場合、現在のパスワードは必要ありません。
工場出荷時の状態では、ユーザパスワードは、設定されていません。
「0000」はパスワード無しの設定になります。

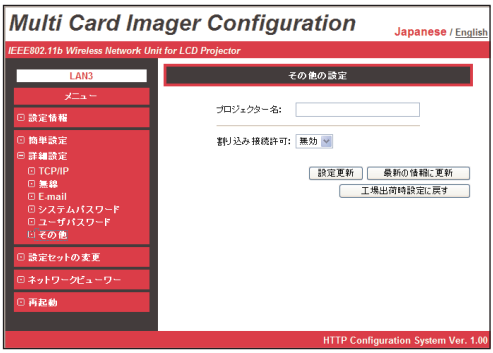


項目	詳細
新しいユーザパスワードを入力	新しく設定したいユーザパスワードを入力します。入力したパスワードは「●●●●」で表示されます。(数字4文字)
新しいユーザパスワードを再入力	新しく設定したいユーザパスワードを再入力します。入力したパスワードは「●●●●」で表示されます。(数字4文字)
「設定更新」ボタン	設定した内容に問題なければ「設定更新」ボタンをクリックします。ユーザパスワードが更新されたメッセージが表示されます。

日本語

その他の設定

プロジェクター名の設定ができます。プロジェクター名は、MCI Clientの「接続先選択」の「プロジェクター名」一覧に表示されます。

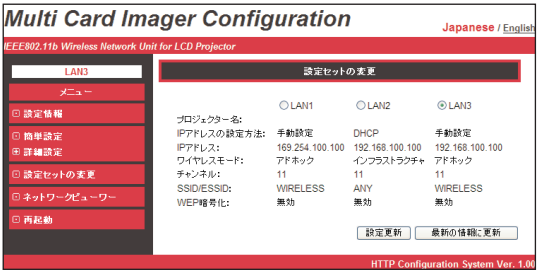


項目	詳細
プロジェクター名	複数のマルチカードイメージャーを使用する際、簡単に区別できるようにプロジェクター名を任意に設定できます。(64文字以内) ここで設定したプロジェクター名は、MCI Clientの「接続先選択」の「プロジェクター名」一覧に表示されます。
割り込み接続許可	MCI Client でプロジェクターへの接続を行う際、使用されているプロジェクターへの割り込み接続の有効、無効の設定をします。(P56「ネットワークを使って画像を表示する」参照)
「設定更新」ボタン	設定した内容に問題なければ「設定更新」ボタンをクリックします。 「設定更新」ボタンをクリックすると再起動を促す画面を表示します。
「最新の情報に更新」ボタン	変更した内容をキャンセルします。
「工場出荷時設定に戻す」ボタン	その他の設定の項目を工場出荷時設定に戻すには「工場出荷時設定に戻す」ボタンをクリックします。

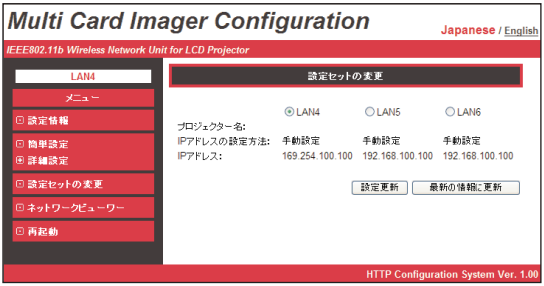
設定セットの変更

LAN1-LAN3のどの設定セットを有効にするかの設定ができます。また、LAN1-LAN3の設定値（プロジェクター名・IPアドレスの設定方法・IPアドレス・ワイヤレスモード・チャンネル・SSID/ESSID・WEP暗号化）を確認することができます。
無線LANカード装着時と有線LANカード装着時では、表示内容が異なります。

【無線LANカード装着時の表示画面】



【有線LANカード装着時の表示画面】

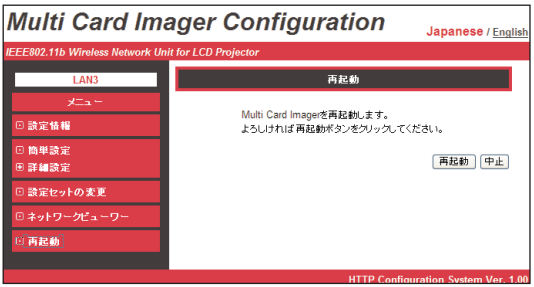


項目	詳細
LAN1 LAN2 LAN3(*)	「LAN1」/「LAN2」/「LAN3」から一つ選択します。
「設定更新」ボタン	設定した内容に問題なければ「設定更新」ボタンをクリックします。 「設定更新」ボタンをクリックすると再起動を促す画面を表示します。
「最新の情報に更新」ボタン	変更した内容をキャンセルします。

(*)有線LANカード装着時は、LAN4 LAN5 LAN6を表示します。

再起動

再起動画面ではマルチカードイメージャーを再起動できます。
設定変更後再起動しないと変更内容は有効になりません。「再起動」ボタンをクリックし、再起動を行ってください。



項目	詳細
「再起動」ボタン	他に設定変更する内容がなければ「再起動」ボタンをクリックします。設定内容が有効になります。
「中止」ボタン	再起動を中止します。

Chapter 9

9. ネットワークを使って画像を表示する

ネットワークを使ってコンピュータの画像をプロジェクターに表示します。

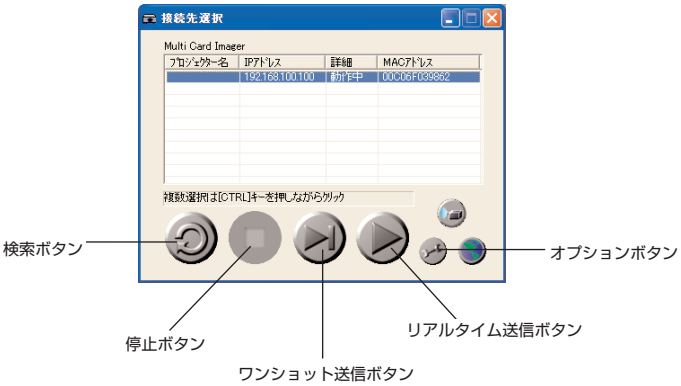
ネットワークを使って画像を表示する

1. MCI Client を起動する

コンピュータの【スタート】→【プログラム】→【Multi Card Imager】から MCI Cliernt を起動します。MCI Client が立ち上がり、LAN上にあるプロジェクターを検索し、LAN上のプロジェクターリストを表示します。希望のプロジェクターが検索されない場合は再度検索ボタンを押し、検索を実行します。

【メモ1】 プロジェクターがルーターを越えた他のセグメントに設置されているとき、ここでは検索されません。この場合、直接プロジェクターのアドレスを指定します。指定のしかたは「7. 無線LAN の設定」の「動作の確認」の項を参照ください。

【メモ2】 MCI Clientが立ち上がるとコンピュータのタスクトレイにMCI Clientアイコンが表示されます。アイコンの操作は次項「タスクトレイのアイコン」をご覧ください。



2. 画像を投写するプロジェクターを選択する

画像を投写するプロジェクターをリストの中からマウスで選択します。複数選択する場合は Ctrl キーを押して選択します。選択できる台数は最大 5 台です。

選択されたプロジェクターの名前が反転表示されます。接続中とあるものは現在使用されているプロジェクターで、これらに接続することはできません。

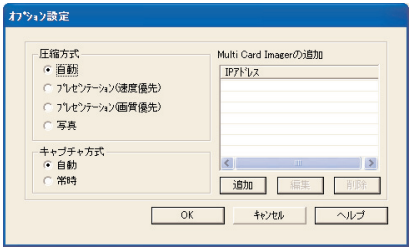
※ WEBブラウザーを使って割り込み接続許可を有効にすると、接続のプロジェクターへ割り込んで接続できます。(「8. ブラウザーでの設定」の「その他の設定」の項で「割り込み接続許可」を有効にします。)

3. キャプチャーする環境を設定する

オプションボタンを押します。オプション設定画面が現れます。

ここでキャプチャーする環境の設定を行います。(設定の詳細は次ページ参照)

OKボタンを押すと、設定内容が反映されます。



圧縮方式

項目	詳細
自動	自動的に最適な画像の圧縮方法を選択します。
プレゼンテーション（速度優先）	画像変化への対応を優先します。
プレゼンテーション（画質優先）	画質を優先します。
写真	写真など自然画面を投映したい場合に選択します。

キャプチャ方式　※リアルタイム送信時に反映

項目	詳細
自動	パソコンの表示画面が変化した場合に送信します。
常時	常にパソコンの表示画面を 送信します。

4. プロジェクターへ画面を送信する

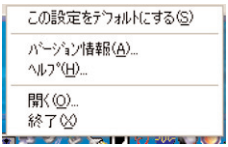
項目	詳細
リアルタイム送信ボタン	画像変化をリアルタイムでプロジェクターより投映します。
ワンショット送信ボタン	ボタンを押した時点の画面をキャプチャしてプロジェクターより投映します。
停止ボタン	リアルタイム送信を停止します。 パスワードが設定されているときはパスワード入力ダイアログがでます。 （パスワード設定「8. ブラウザーでの設定」を参照下さい）

【メモ】リアルタイム送信中は、MCI Client の操作ボタン以外は操作できません。
送信された画像は マルチカードイメージャー に保持され、プロジェクターの電源を切るまで、あるいは マルチカードイメージャーを再起動（WEB ブラウザーでの操作）するまで MCI Client を終了しても投映し続けます。

タスクトレイのアイコンについて

MCI Client を起動すると、タスクトレイにアイコンが表示されます。アイコンをクリックすると以下の設定が表示されます。

マルチカードイメージャーに接続するとアイコンが点灯の絵になります。



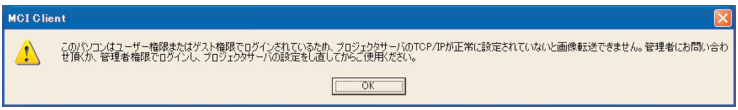
項目	詳細
この設定をデフォルトにする	以下の内容を保存して、次回より保存した内容でMCI Clientは起動します。CD-ROMから直接起動して使用している場合は、この機能を使用できません。 ・オプション設定 ・接続先 ・画像転送モード（リアルタイム送信、ワンショット送信、停止） ・ユーザパスワード
バージョン情報	MCI Clientのバージョン情報を表示します。
ヘルプ	MCI Clientのヘルプを表示します。
開く	MCI Clientの「接続先選択」画面が最小化サイズ、もしくは他のアプリケーションで隠れている場合にアクティブ表示します。
終了	MCI Client を終了します。

User 権限ログインについて

Windows XP Professional/Windows XP HomeEdition/Windows2000 ProfessionalにおいてUser権限ログイン（Administrator権限以外）した場合の注意事項

Windows XP Professional/Windows XP HomeEdition/Windows2000 ProfessionalにおいてUser権限ログイン（Administrator権限以外）した際にMCI Clientを起動すると下図のエラーメッセージが表示されます。
マルチカードイメージャーのIPアドレスとパソコンのIPアドレスが通信できるIPアドレス体系であることを確認します。通信できないIPアドレス体系の場合、下記の方法によって、IPアドレスの設定を変更します。

Administrator権限でパソコンにログインしなおして、マルチカードイメージャーと通信できるIPアドレス体系に設定する。設定完了後、パソコンにUser権限ログインをする。



MCI Client起動時、投映する画像の処理を速くするためには「ハードウェアアクセラレータ」の設定（【画面のプロパティ】-【設定】タブ-【詳細設定】-【トラブルシューティング】タブに「ハードウェアアクセラレータ」の設定があります。）を「なし」に設定します。User権限ログイン（Administrator権限以外）では、この設定を「なし」に設定することができません。よって、「ハードウェアアクセラレータ」の設定が「最大」（デフォルト値）のままである場合、「なし」と比較すると投映する画像の処理は、遅くなります。この場合は、まずAdministrator権限でパソコンにログインして、「ハードウェアアクセラレータ」の設定を「なし」と設定完了した後、パソコンにUser権限ログインしなおしてからMCI Clientを起動します。

Chapter 10

10. PJ Controller の使いかた

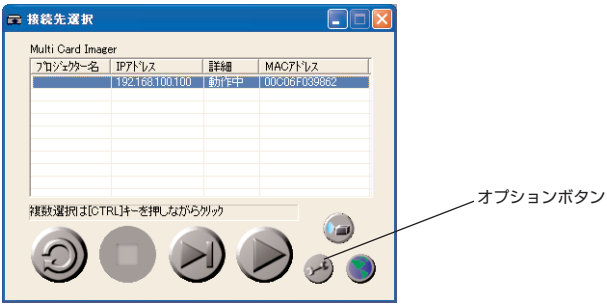
コンピュータにインストールしたMCI ClientのPJ Controller で、ネットワークに設置したプロジェクターの操作、管理を行います。
PJ Controller では以下のことを行います。

・プロジェクターの管理
　プロジェクターの動作状態をリアルタイムにモニター
　プロジェクターの運転状態を管理者にメールで告知
・プロジェクターの操作
・ネットワークビューワーの操作
・プロジェクターのメニュー操作

準　備

1. MCI Client を起動する

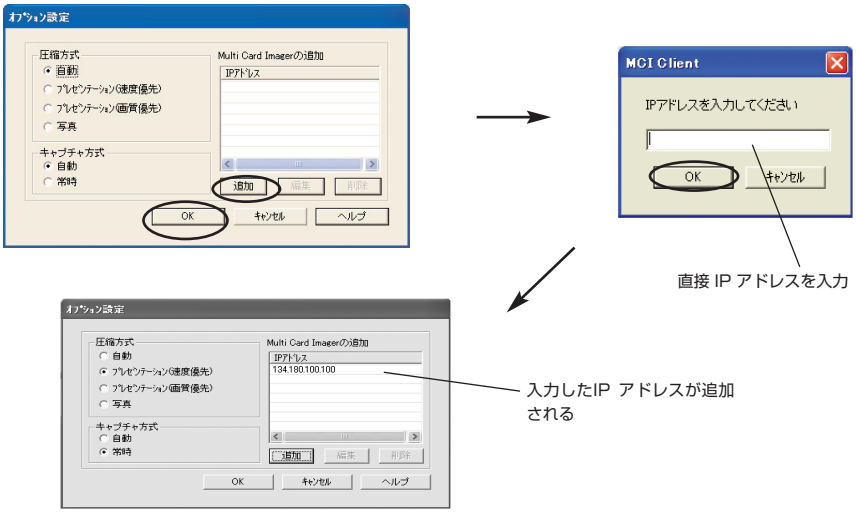
【スタート】→【プログラム】→【Multi Card Imager】もしくはデスクトップのショートカットから MCI Client を起動します。MCI Client を起動すると、LAN上にあるプロジェクターを検索し、LAN上のプロジェクターリストを表示します。



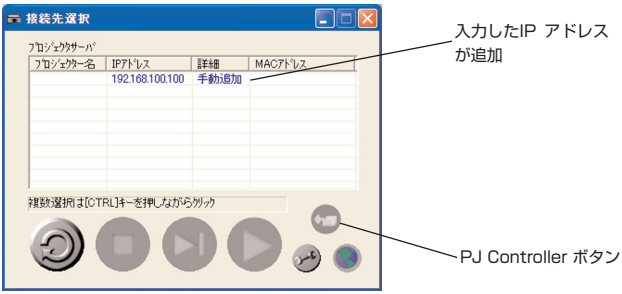
✐ ルーター等で隔てられたLANに存在するプロジェクターへの接続 ✐

ルーター等で隔てられたLANに存在するプロジェクターはこの検索では検出されません。この場合、メニューのオプションボタンを押し、オプション設定画面を表示します。

① 追加ボタンを押し、IP アドレス入力画面を表示します。
② 接続しようとするIP アドレス(例：134.180.100.100)を直接入力します。
③ OKボタンを押します。オプション設定画面に入力したIPアドレスが表示されます。



④ オプション設定画面のOKボタンを押します。メイン画面にIPアドレスが追加され、「手動追加」と表示されます。



2. 操作するプロジェクターを選択し（反転表示）、PJ Controller ボタンをクリックする

※ 「詳細」の項目に「接続中」と表示されているプロジェクターは、PJ Controller を使用することができません。

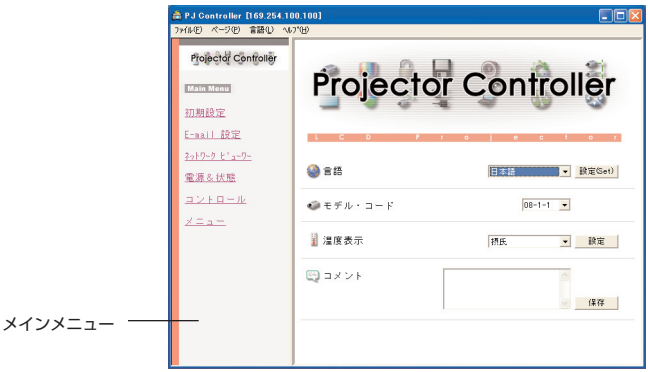
※ PJ Controller で操作できるプロジェクターは 1 台のみです。

3. PJ Controller 画面の表示

以下のような PJ Controller 画面が表示されます。この画面から各種設定を行います。

画面左側は「メインメニュー」です。設定するメニューを選択します。

画面右側は選択したメニューに対するコントロール項目や状態項目が表示されます。最初の画面は「初期設定」が表示されています。

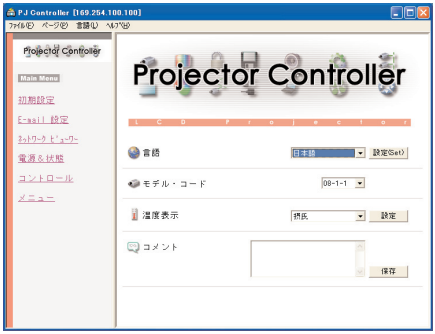


初期設定をする

PJ Controller を使うまえに、以下の初期設定を行います。

1. Main Menu の「初期設定」を選択し、各項目を設定する

【Main Menu】



項目	説明
言語	メニューの表示言語を選択し、設定ボタンを押します。
モデルコード	モデルコードはプロジェクターの型名を意味するものです。このマルチカードイメージャーでご使用になるプロジェクターのモデルコードをプルダウンメニューから選択してください。 ※「モデルコード」はプロジェクターの使用説明書の「別売品」の欄に記載されています。モデルコードをよくお確かめのうえ、正しいコードを選択してください。モデルコードを誤ると正しく操作することができません。
温度表示	プロジェクターのコントロール画面に表示される温度単位の設定を行います。プルダウンメニューから単位を選択し、設定ボタンを押します。
コメント	初期設定に関するメモを保存できます。「保存」ボタンをクリックするとメモが保存されます。

2. Main Menu の各項目を設定する

初期設定完了後、Main Menu 内の項目を選択し、プロジェクターの操作や設定を行います。

3. 各項目の設定終了後は「ファイル」→「アプリケーションの終了」を選択し PJ Controller を終了します。

E-mail の設定をする

本機は、プロジェクターに異常が発生したときやランプの交換時期がきたときなどに、管理者やユーザーに異常や警告を知らせるE-mail機能を持っています。メインメニューから「E-mail設定」をクリックし、以下の手順に従って設定します。

1. E-mail アドレスを登録する

項目	説明
SMTPサーバー	SMTPサーバーのアドレスを入力し、「設定」ボタンを押します。
管理者アドレス	管理者の E-mail アドレスを入力し、「設定」ボタンをクリックします。プロジェクターから送信されるメールの送信先アドレスとして設定されます。
メールアドレス	メール送信先のアドレスを入力し、「設定」ボタンをクリックします。設定済みのメールアドレスを削除する場合、「削除」ボタンをクリックします。
オプション	選択したエラーが発生したときにE-mail送信します。

※ SMTPサーバーとはメール送信用のサーバーのことです。設定するアドレスについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

※ メール機能を使うためにはDNSサーバーの設定が必要です。「8. ブラウザーでの設定」の「TCP/IPの設定」を参照し、DNS サーバーの設定を行ってください。
メールサーバーが利用できない環境では、このE-mail機能は使用できません。大規模なネットワークでは、LAN構内にSMTPサーバーを設置している場合があります、この場合、SMTPサーバーに設定するアドレスはLAN内に設置されているサーバーのアドレスを指定します。構内LAN以外のアドレスは利用できないことがあります。詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。

2. オプションを選択する。

選択したエラーが発生したときにE-mailを送信します。条件リストよりエラー項目のチェックボックスにチェックを入れ、「設定」ボタンをクリックしてください。

※ 送信される警告メッセージについては下記の「警告メールの種類と内容[例]」を参照ください。

3. 添付メッセージの入力

入力したメッセージは警告メールに添付されます。（最大ASCII220文字）

【警告メールの種類と内容［例］】

※温度異常で消灯したとき

件名: プロジェクターからのメッセージ
プロジェクターのモデル名: XX100
TCP/IP: 192.168.0.111　　プロジェクター名:MyProjector

より、以下のメッセージが届きました。

・プロジェクターの内部温度が高くなり、消灯しました。
　温度が下がる(warning temp.インジケーターが消える)まで待ってから、再点灯してください。
　再度インジケーターが点灯する場合は、エアフィルターが詰まっていないか確認してください。

[A] 摂氏　21.5度 [B] 摂氏 -13.7度 [C] 摂氏　51.6度
センサー B が温度異常です
センサー C が温度異常です

✐ プロジェクター内部の温度センサーA、B、Cのどのセンサーが異常温度を検出してプロジェクターが消灯したかをお知らせします。温度センサーの設置場所および温度については68ページを参照ください。また、具体的な対処方法についてはプロジェクターの使用説明書をご覧ください。

※電源異常で消灯したとき

件名: プロジェクターからのメッセージ
プロジェクターのモデル名: XX100
TCP/IP: 192.168.0.111　　プロジェクター名:MyProjector

より、以下のメッセージが届きました。

・プロジェクターの電源異常により、消灯しました。
　プロジェクターの電源プラグを抜き、販売店に修理をご依頼ください。

✐ プロジェクターの電源に異常が発生しました。プロジェクターの電源コードを抜き、販売店に修理をご依頼ください。

※ランプ交換時期がきたとき

件名: プロジェクターからのメッセージ
プロジェクターのモデル名: XX100
TCP/IP: 192.168.0.111　　プロジェクター名:MyProjector

より、以下のメッセージが届きました。

・ランプの使用時間が、100※時間に達しました。

✐ 速やかにランプを交換し、ランプカウンターをリセットしてください。ランプカウンターをリセットしないままご使用になると、プロジェクターを起動するたびに警告メールが送信されます。

※ E-mail設定のオプション項目で設定した時間が表示されます。

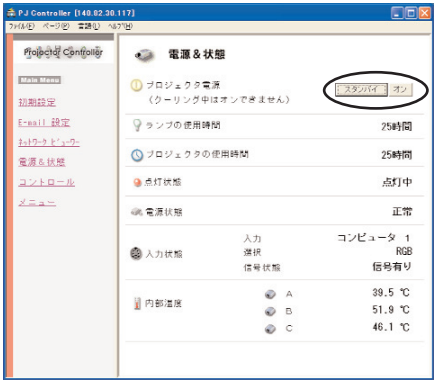
プロジェクターの電源と状態

メインメニューの「電源&状態」をクリックし、電源&状態ページを表示します。

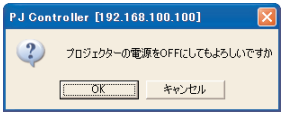
1. プロジェクターの電源を入れる/切る

プロジェクター電源項目の「スタンバイ」/「オン」ボタンを押し、プロジェクターの電源をコントロールします。「スタンバイ」ボタンを押したときは、確認のためのウインドウが現れますので、スタンバイにするときは「OK」をクリックします。

※ プロジェクターの電源を切った後、約90秒間は電源が入りません。点灯状態の表示が「クーリング中」から「スタンバイ」になってから「ON」ボタンを押して、電源を入れてください。



【確認のウィンドウ】



✐ ネットワークを使ってプロジェクターの電源の入り・切りをする場合の注意✐

ネットワークを使ってプロジェクターの電源のオン・オフをするときはプロジェクターを以下のように設定しておいてください。

1）プロジェクターのメニューから「セッティング」を選択します。

2）セッティングメニューから「スタンバイモード」を選択し、ポインターで「ノーマル」に設定します。

スタンバイモードを「ノーマル」にすると、プロジェクターの電源を切ってもマルチカードイメージャーに電源が供給され、マルチカードイメージャーは動作状態を保持します。スタンバイモードを「エコモード」にするとプロジェクターの電源を切ると、マルチカードイメージャーの電源も切れるため、電源のオン・オフをネットワークで操作できなくなります。

2. プロジェクターの状態を確認する

電源＆状態画面では、プロジェクターの電源をコントロールする以外に、下表に記載する項目を確認することができます。

項目	説明
ランプの使用時間	ランプの使用時間を１時間単位で表示します。
プロジェクタの使用時間	プロジェクターの積算使用時間を１時間単位で表示します。
点灯状態	ランプの状態を表示します。 点灯中/スタンバイ/クーリング中/パワーセーブ・クーリング中/温度異常・クーリング中、スタートアップ中、パワーマネージメント動作中、温度異常・スタンバイ中を表示します。
電源状態	電源の動作状態を表示します。 正常/温度異常/電源異常を表示します。
入力状態	入力の状態を表示します。
入力	選択している入力モードを表示します。
選択	選択している入力のソースモードを表示します。
信号状態	信号入力の状態を表示します。
内部温度	内部温度センサーの測定温度を摂氏または華氏で表示します 画面中のA，B，Cはプロジェクター内部の温度センサーを表します。測定温度が指定されたある温度を超えると、A，B，C の各アイコンは以下のような警告アイコンに変わり、異常温度上昇を知らせます。プロジェクター周辺の温度や、エアフィルタの目詰まり、吸気・排気ファン周辺を確認してください アイコン[A], [B], [C]は以下の場所の温度を表しています。 [A]: プロジェクター周辺温度＊ [B]: パネル周辺温度 [C]: ランプ周辺温度 ＊ プロジェクターの周辺温度は実際の周辺温度とは異なり、少し高めに表示されます。

プロジェクターをコントロールする

メインメニューの「コントロール」をクリックすると、画面下部にプロジェクターを操作するメニューが表示されます。このメニューでプロジェクターの調整とセッティングをおこないます。

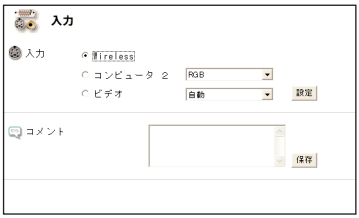
【注意】表示される各調整項目はプロジェクターの入力信号の選択、また、プロジェクターの型名によって異なります。このため、ここで記載している画面表示および説明項目は実際のものと異なります。詳しい操作内容は、プロジェクターの使用説明書をご覧ください。プロジェクターの電源がOFFの場合、ここでの操作はできません。

プロジェクターを操作するメニュー

入力

この画面では、入力端子とモードの選択を行います。プロジェクターの入力端子の選択をラジオボタンで選択し、入力信号モードをプルダウンメニューから選択します。「設定」ボタンを押して切り替えます。選択項目は以下の通りです。

「コメント」欄には入力選択に関するメモを保存することができます。「保存」ボタンを押すとメモが保存されます。



項目	説明
Wireless/Wired	画面キャプチャー、ネットワークビューワー機能を利用する場合の入力モードです。
コンピュータ 2.....	RGB、コンポーネント、RGB(Scart)より選択します。
ビデオ	自動、VIDEO, S-VIDEO より選択します。

日本語

PC 調整

この画面では、プロジェクターに接続されたコンピュータからの信号を、最適にスクリーン上に投映する調整を行います。

※ PC調整は「入力」の設定で、「コンピュータ２」の「RGB」モード時のみ設定項目が表示されます。

項目	説明
モード	コンピュータのモードを表示します。
自動PC調整	「スタート」ボタンをクリックすると　自動調整をおこないます。
トラッキング	数値を直接入力するか、「←」「→」ボタンでトラッキングの調整をします。
総ドット数	数値を直接入力するか、「←」「→」ボタンをクリックして水平期間の総ドット数の調整をします。
水平位置	数値を直接入力するか、「←」「→」ボタンをクリックして水平画像位置の調整をします。
垂直位置	数値を直接入力するか、「←」「→」ボタンをクリックして垂直画像位置の調整をします。
クランプ	数値を直接入力するか、「←」「→」ボタンをクリックして画像のクランプ位置を調整します。
画像領域Ｈ	数値を直接入力するか、「←」「→」ボタンをクリックして水平画像の領域を調整します。
画像領域Ｖ	数値を直接入力するか、「←」「→」ボタンをクリックして垂直画像の領域を調整します。
フルスクリーン	スクリーン全面に表示します。
設定値のロード	あらかじめ保存した各設定（Mode1-5）を読み出すことができます。
設定値の保存	PC調整の各設定値を「Mode1- 5」に保存することができます。希望するMode番号を選択し「設定」ボタンをクリックします。 ※保存内容を消去したい場合、プルダウンメニューから消去したいモードを選択し、「モードフリー」ボタンをクリックします。
コメント	PC調整に関するメモを保存することができます。「保存」ボタンをクリックするとメモが保存されます。

SYSTEM 調整

この画面では、プロジェクターに入力する映像信号のカラーシステムや走査方式を選択します。入力の設定で「コンピュータ 2 」の「コンポーネント」入力を選択した場合は「システムの調整」、「ビデオ」入力を選択した場合は「カラーシステム調整」の設定項目を表示します。

【コンポーネント入力時の設定項目】

項目	説明
ｼｽﾃﾑ調整	コンポーネント信号の走査方式を選択します。
AUTO	入力信号の走査方式に自動で対応します。

【VIDEO/S-VIDEO入力時の設定項目】

項目	説明
ｶﾗｰｼｽﾃﾑ調整	ビデオ信号のカラーシステムを選択します。
AUTO	入力信号のカラーシステムに自動で対応します。

※ 日本のカラーシステムはNTSCです。入力信号の状態が悪く「AUTO」を選択してもシステムが自動で選択できない時は、「NTSC」を選んでください。

※ システム調整はビデオ（ビデオ／コンポーネント）信号入力時のみ、設定項目が表示されます

映像調整

この画面では、プロジェクターの映像調整と設定を行います。映像調整モードの選択は、プルダウンメニューから希望するモードを選択し、「設定」ボタンをクリックします。設定項目は入力モードにより自動的に切り変わります。また、各々の設定の変更毎に「設定」ボタンをクリックします。「リセット」ボタンを押すと、全ての項目がリセットされます。

＊ ご使用になるプロジェクターの機能、及び、選択している入力モードによっては利用できない調整項目があります。この場合、項目の値は「---」で表示されます。

項目	説明
現在の映像調整モード	スタンダード、シネマ＊、ハイコントラスト＊＊、カスタムをプルダウンメニューから選択します。イメージ１～４はユーザ設定項目です
オリジナルモード	基本となるイメージモードを表示します
コントラスト	コントラストの調整をします。数値を直接入力するか、「←」「→」ボタンで設定します。
明るさ	明るさを調整します。数値を直接入力するか、「←」「→」ボタンで設定します。
色合い	色合いを調整します。数値を直接入力するか、「←」「→」ボタンで設定します。
色の濃さ	色の濃さを調整します。数値を直接入力するか、「←」「→」ボタンで設定します。
ホワイトバランス	
色温度	色温度を設定します。（高/中/低/超低）
赤・緑・青	ホワイトバランスを調整します。 数値を直接入力するか、「←」「→」ボタンで設定します。
画質	画質を調整します。数値を直接入力するか、「←」「→」ボタンで設定します。
ガンマ補正	コントラストバランスを調整します。数値を直接入力するか、「←」「→」ボタンで設定します。
プログレッシブ＊＊	ﾌﾟﾛｸﾞﾚｯｼﾌﾞﾓｰﾄﾞを切り替えます。（オフ/L1/L2）
コメント	映像調整に関するメモを保存できます。「保存」ボタンをクリックするとメモが保存されます。
メモリー	映像調整の設定値を「カスタム」に保存することができます。希望するイメージ番号を選択し「設定」ボタンをクリックします。「リセット」ボタンを押すと調整値はリセットされます。

＊ PC入力の場合のみの設定メニューです。
＊＊ ビデオ入力の場合のみの設定メニューです。
＊＊ ＊ カラーシステムがPAL,SECAM,PAN-N,PAL-Mのとくは「色合い」の調整はできません。

スクリーン

この画面では、プロジェクターのスクリーンモードの選択を行います。設定項目はPC入力とビデオ入力とで自動的に切り変わります。

項目	説明
アスペクト	スクリーンの投映モードを切り換えます。（ノーマル / ワイド）
リアル*	「オン」「オフ」ボタンで画像の投映を切り換えます。
ﾃﾞｼﾞﾀﾙｽﾞｰﾑ*	「＋」「－」「オフ」ボタンで画像の拡大、縮小、またはズームなしを設定します。

＊ 入力の設定で「Wireless」「Wired」、または「コンピュータ 2」の「RGB」のときに表示します。

※「SYSTEM」の「システムの調整（コンポーネント入力時）」の設定で 1080i / 1035i / 720i のいずれかを設定した場合には、スクリーンの設定はできません。

音　声

この画面では、プロジェクターの音声の調整を行います。

項目	説明
音量	数値を直接入力するか、「←」「→」ボタンで設定します。
ミュート	スピーカからの出力を一時的に消音、解除します。

日本語

セッティング

この画面では、プロジェクターのセットアップを行います。各項目の横の表示は現在の設定値および状態を表します。設定項目と操作は次ページをご覧ください。

ご使用になるプロジェクターの機能によっては表示される項目が異なることがあります。

※表示は一部です

項目	詳細
言語	プルダウンメニューから、メニュー表示の言語を選択し、「設定」ボタンをクリックします。
キーストーン	「←」/「→」/「↑」/「↓」ボタンをクリックして台形ひずみを補正します。 ハイスピードのチェックボックスは変化量を上げたいときにチェックを入れます。 補正しない場合は「オフ」ボタンをクリックします。
ブルーバック	信号のないときにブルーの画面を出す機能です。「オン」/「オフ」ボタンで設定します。
オンスクリーン表示	画面表示を出す・出さないを「オン」/「オフ」ボタンで設定します。
ロゴ	電源起動時のロゴ表示を「ユーザ」/「初期値」/「オフ」ボタンで設定します。
キャプチャ	投映している画像を電源起動時の「ロゴ」とする場合に使用します。「ロゴ」の設定を「ユーザ」にした場合、「キャプチャ」した画像を電源起動時に投映します。
天吊り	「オン」ボタンをクリックすると、画像の上下左右を反転して投映します。
リア投映	「オン」ボタンをクリックすると、画像の左右を反転して投映します。
端子	プルダウンメニューから「コンピュータ　2」/「モニター出力」を選択して設定します。
スタンバイモード	「ノーマル」/「エコ」ボタンでスタンバイモードの設定をします。
ブランク	「オン」ボタンをクリックすると、画像を一時的に消します。
フリーズ	「オン」ボタンをクリックすると、画像を一時的に静止させます。
パワーマネージメント	「待機」/「シャットダウン」/「オフ」ボタンと時間（分）でパワーマネージメントの設定をします。
オンスタート	「オン」ボタンをクリックすると、電源コードを接続しただけでプロジェクターの電源が入ります。

項目	説明
ランプモード	プルダウンメニューから「ノーマルモード」/「サイレントモード」/「自動」を選択してランプモードの設定をします。
ポインタ	プルダウンメニューから「スポットライトS」/「スポットライトM」/「スポットライトL」/「ポインタ」/「指型」/「レーザー」を選択してポインタの設定をします。
キーロック	プルダウンメニューから「なし」/「プロジェクタキー」/「リモコン」を選択してキーロックすることで操作を制限します。
リモコンコード	8種類のリモコンコードから選択して設定できます。リモコンコードを変更した場合にはリモコン本体のコードも切り替える必要があります。
ランプカウンター	
リセット	ランプカウンターをリセットできます。 光源ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。
初期設定	「コントロール」の全項目を初期設定に戻す場合、「はい」をクリックします。
P-TIMER	「P-TIMER」ボタンをクリックすると、投映画面上にタイマーを表示します。もう一度クリックすると、経過時間のカウントが止まります。さらにもう一度クリックすると、表示は消えます。

サービス

この画面では、プロジェクターのサービス（サービスメンテナンス用）項目を調整します。

項目	説明
ファンコントロール スピード	「最大」/「通常」のラジオボタンを選択し、「設定」ボタンをクリックします。
ビデオシステム※	ビデオ信号の種類を表示します。
水平解像度※	「←」/「→」ボタンを押して、水平の有効画面を調整します。
垂直解像度※	「←」/「→」ボタンを押して、垂直の有効画面を調整します。
ポジション※	「←」/「→」/「↑」/「↓」ボタンを押して、画面位置を調整します。
デフォルト※	サービスの設定をデフォルトに戻します。

※「入力」の設定で「Wireless」（または、「Wired」）とした時と「コンピュータ　2」の「RGB」とした時以外に表示します。

保　存

この画面では、プロジェクターの各種調整と設定を一括して保存、及び、読み出しを行います。調整・設定を保存できる項目は、入力モード、SYSTEM調整、映像調整、スクリーン、セッティングの各々の項目です。

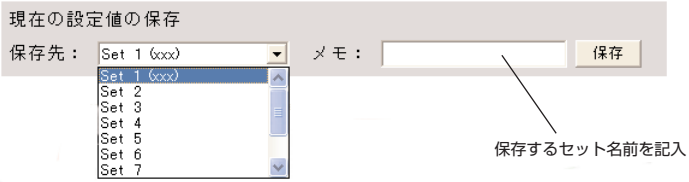
※表示は一部です

1. 設定状態を確認する

「保存」アイコンをクリックすると左のような「現在状態の保存」画面が表示されます。設定状態を確認します。（次ページへ）

2. セット番号を選択し、設定に名前を付ける

「現在の設定値の保存」のプルダウンメニューから希望する保存セット番号（set1 ～ set10）を選択します。
メモ欄には保存するセットの名前をメモとして記入します。



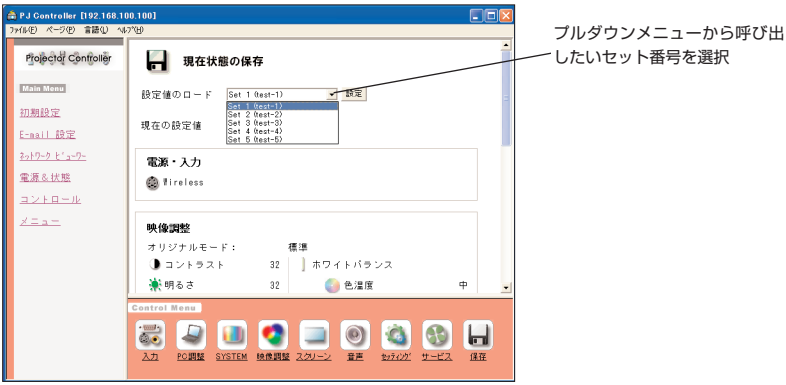
3. セットを保存する

「保存」ボタンを押して、選択した保存セット番号に設定値を保存します。

✐ 既に設定したセットを読み出す時には ✐

「設定値のロード」のプルダウンメニューから呼び出したいセット番号を選択し、「設定」ボタンをクリックします。選択したセット番号の設定値が現在の調整項目に適用されます。

※　保存された設定セットをロードし、プロジェクターをセットするには、入力信号は保存時と同じフォーマットの信号を入力する必要があります。入力信号が異なると、プロジェクターは正しくセットされません。



設定例の画面サンプル

日本語

メニュー

メインメニューより、「メニュー」を選択します。以下のメニュー操作画面が表示されます。メニュー表示をオンにするとプロジェクターの操作メニューが現れます。カーソルボタンを使いメニューの操作を行います。

項目	説明
メニュー表示	「オン」/「オフ」ボタンを押し、投映画面にプロジェクターのメニュー表示の切り替えを行います。
カーソル	「←」/「→」/「↑」/「↓」ボタンをクリックして、カーソルを移動します。「SELECT」ボタンをクリックして、選択を確定します。

Chapter 11

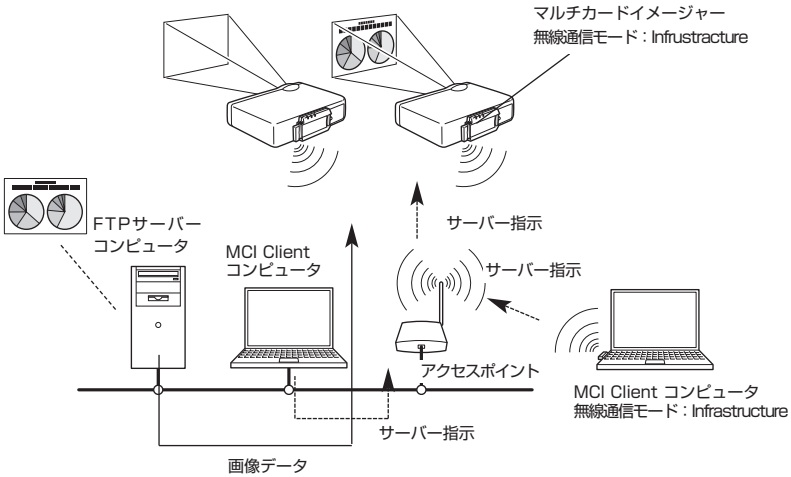
11. ネットワークビューワーの使いかた

プロジェクターと同じLAN上に置かれたFTPサーバーの画像データをプロジェクター、または、MCI Clientコンピューターの操作で任意のプロジェクターへ画像を表示します。

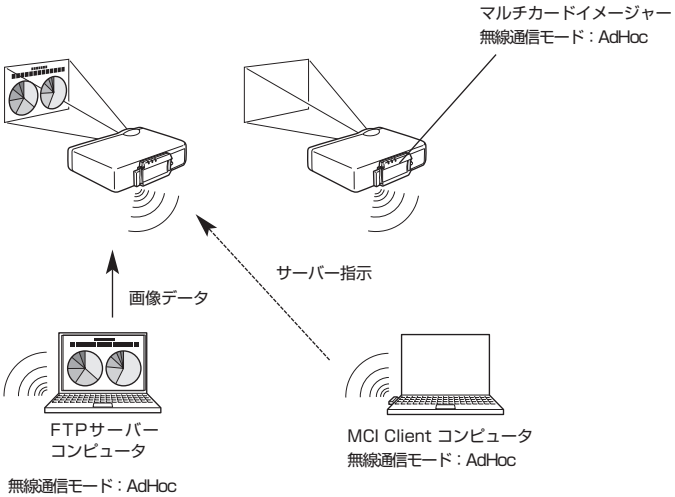
ネットワークビューワーのしくみと信号の流れ

ネットワークビューワーは MCI Client コンピューターと同じLAN上にあるFTPサーバーの画像をMCI Client コンピューターまたはプロジェクターの操作でプロジェクターに表示するものです。各通信モードにおける信号の流れは下図となります。

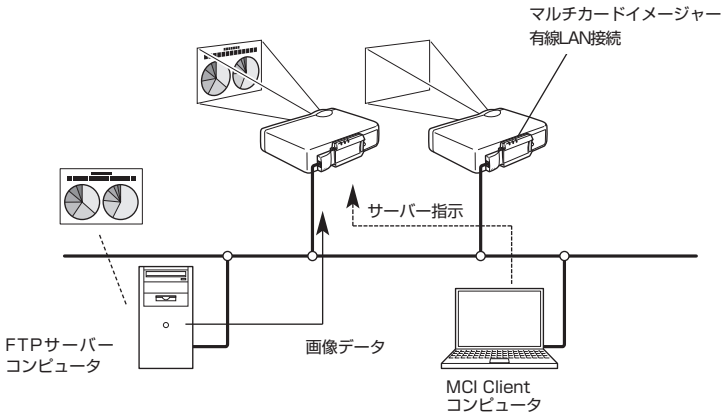
■　無線LAN　インフラストラクチャ（Infrastructure）通信モード



■　無線LAN　アドホック（AdHoc）通信モード



■　有線 LAN 通信モード



動作について

FTPサーバーの画像表示は、以下の手順にておこなわれます。

1. MCI Client よりマルチカードイメージャーへ画像を提供するFTPサーバーの情報が送られこの情報がマルチカードイメージャーに保持される。

2. MCI Client の操作で、画像表示の指示がマルチカードイメージャーに送られ、マルチカードイメージャーはその指示に従いFTPサーバーの画像を随時読み出し、プロジェクターへ表示する。
   FTPサーバーの画像表示の指示はプロジェクターからでも行えます。この場合、あらかじめ1.の作業を行っておく必要があります。

画像を提供するFTPサーバーの機能条件

※ WindowsNT4.0、Windows2000 Professional、またはWindows XP ProfessionalでFTPサービスが可能な環境にあること。
※ FTPサーバーはフルアクセス権を持つアカウントがあること、または、FTPサーバーはanonymous（匿名）アカウントを許可していることが必要。

画像の表示

操作は、1）PJ Controller、2）ブラウザー、または3）プロジェクターからできます。
プロジェクターから操作する場合は、はじめに1）PJ Controllerまたは2）ブラウザーからの操作により、画像を提供するFTPサーバーの設定が必要です。以下各操作を説明します。

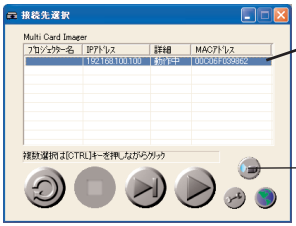
PJ Controller から操作する

1. プロジェクターの入力を選択する（Wired / Wireless）

プロジェクターの入力を無線LANの場合「Wireless」に、有線LANの場合「Wire d」にします。
MCI Client を起動します。
ネットワークで検出されたプロジェクターの名前とIPアドレスが表示されます。

2. FTPサーバーの画像を表示するプロジェクターを選択する

指定できるのは1台です。



3. PJ Controllerを起動する

PJ Controller ボタンを押し、PJ Controller 画面を表示します。メインメニューの「初期設定」で「言語」と「モデルコード」を指定します。(64ページ参照)

4.「ネットワークビューワー」を選択する

次に、メインメニューから「ネットワークビューワー」を選択します。操作画面（次ページ）が表示されます。

【初期設定】

【ネットワークビューワー】

【注意】モデルコードはお使いになるプロジェクターの使用説明書の別売品欄に記載されています。正しいコードを選択してください。コードが異なるとプロジェクターを正しく操作することができません。

5. 画像を提供するFTP サーバーを指定する

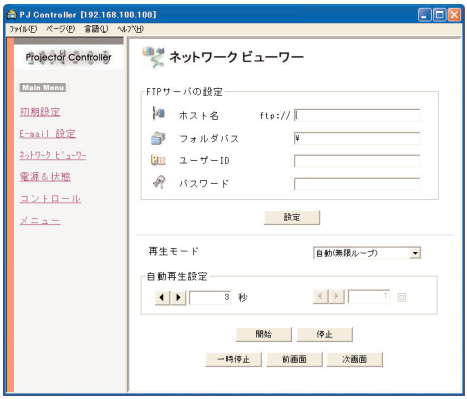
ホスト名 .....サーバーのIPアドレスを記入します。
フォルダパス .....画像のあるディレクトリを指定します。画像がルートディレクトリにある場合は"/"のみです。指定ディレクトリにある場合は/で区切って書きます。/test/data 等。
ユーザーID .....サーバーへのログインIDを入れます。※
パスワード .....サーバーへのログインパスワードを入れます。※
※anonymousの場合はユーザーIDを入力してください。

6. 「設定」ボタンを押す

指定したマルチカードイメージャーにサーバー情報が設定されます。
設定されたサーバー情報はプロジェクターの電源コードを抜いても保持されています。

7. 画像の表示形式を選択し、画像の表示を実行する

再生モード .....自動（無限ループ）（繰り返し画像を継続して表示します）
自動（自動再生設定モードに従い画像の全てを表示し、停止します）
手動（手動で画像を表示します）
自動再生設定 .....秒（１画面の表示時間の設定をします）
回（画面表示のくり返し回数を指定します）
開始ボタン .....画像表示を始めます。
停止ボタン .....画像の表示が停止します。
一時停止 .....自動表示中、一時停止させます。
前画面 .....手動で前ページの画面に戻ります。
次画面 .....手動で次ページ画面へ移ります。

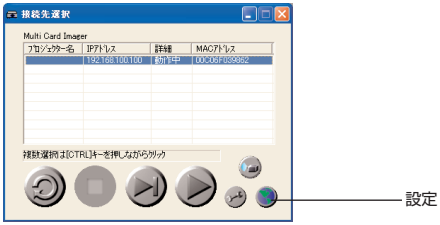


日本語

WEB ブラウザーから操作する

1. プロジェクターの入力を選択する（Wired / Wireless）

プロジェクターの入力を無線LANの場合「Wireless」に、有線LANの場合「Wired」にします。
MCI Client を起動します。
ネットワークで検出されたプロジェクターの名前とIPアドレスが表示されます。
MCI Client を使わず、WEBブラウザーから直接操作する事も可能です。この場合、ブラウザーのURLに直接操作するマルチカードイメージャーのIPアドレスを入力します。（http：//00.00.00.00）

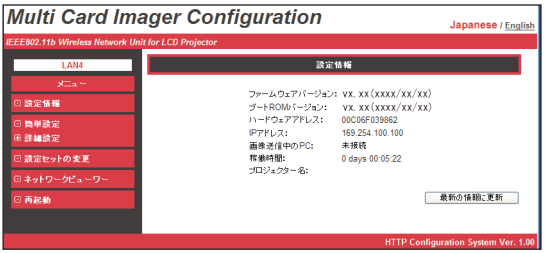


2. FTPサーバーの画像を表示するプロジェクターを選択する

指定できるのは１台です。

3.「設定」ボタンを押す

ブラウザーが起動し、マルチカードイメージャーの設定画面が現れます。
メニュー項目の「ネットワークビューワー」を選択します。
ネットワークビューワーの操作画面（次ページ）が出ます。



4. 画像を提供するFTP サーバーを指定する

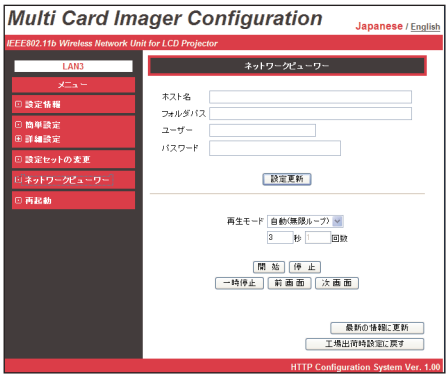
ホスト名 .....サーバーのIPアドレスを記入します。
フォルダパス .....画像のあるディレクトリを指定します。画像がルートディレクトリにある場合は"/"のみです。指定ディレクトリにある場合は/で区切って書きます。/test/data 等。
ユーザID .....サーバーへのログインIDを入れます。※
パスワード .....サーバーへのログインパスを入れます。※
※anonymousの場合はユーザーIDを入力してください。

5. 「設定更新」ボタンを押す

指定したマルチカードイメージャーにサーバー情報が設定されます。
設定されたサーバー情報はプロジェクターの電源コードを抜いても保持されています。

6. 画像の表示形式を選択し、画像の表示を実行する

再生モード .....自動（無限ループ）（繰り返し画像を継続して表示します）
自動（自動再生設定モードに従い画像の全てを表示し、停止します）
手動（手動で画像を表示します）
自動再生設定 .....秒（１画面の表示時間の設定をします）
回（画面表示のくり返し回数を指定します）
開始ボタン .....画像表示を始めます。
停止ボタン .....画像の表示が停止します。
一時停止 .....自動表示中、一時停止させます。
前画面 .....手動再生のとき、手動で前ページの画面に戻ります。
次画面 .....手動再生のとき、手動で次ページ画面へ移ります。
最新の情報に更新 .....変更した内容をキャンセルします。
工場出荷設定に戻す ....ネットワークビューワーの項目を工場出荷設定に戻します。（すべてクリアされます。）



プロジェクターで操作する

プロジェクターで操作する場合、はじめに PJ Controller または WEBブラウザーから FTPサーバーの設定が必要です。FTPサーバーの設定については「PJ Controller から操作する」（P82、83）または「WEB ブラウザーから操作する」（P84、85）をご覧ください。

1. FTPサーバーの設定をする

「PJ controllerから操作する」または「WEBブラウザーから操作する」を参照し、FTPサーバーの設定を行います。

2. プロジェクターの入力を選択する（Wired / Wireless）

プロジェクターの入力を無線LANの場合「Wireless」に、有線LANの場合「Wired」にします。

3. メニューから Wireless Viewer または Wired Viewer を選択する

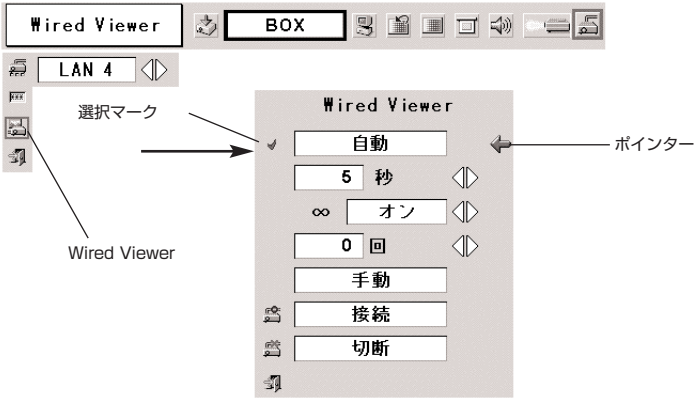
メニューから「Wireless Viewer」（無線LANの場合）または「Wired Viewer」（有線LANの場合）を選択します。Viewerのセット画面（次ページ）が表示されます。

4. 画像再生のモードの選択と実行・停止を行う

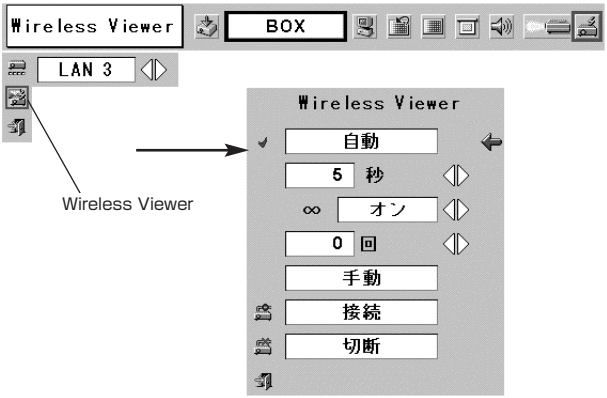
ポインターマークを項目に合わせ、プロジェクターのポイントボタンとSETボタンで画像再生のモードの選択と実行・停止を行います。

自動 .....以下の設定モードに従い画像を自動で表示し、停止します。
秒 .....自動送りの送り時間の設定をします。(3～240秒)
∞ .....“オン” でファイルの画像を繰り返し継続して再生します。
回 .....自動表示の、自動送りの回数を指定します。最大255回可能。
手動 .....画像のページ送りを手動で行います。
リモコン、またはプロジェクター本体のポインター上で次ページへ、ポインター下で前ページに移動します。
FTPサーバーへの接続
.....「接続」へポインターを合わせSETボタンを押すとサーバーへつながり、画像を表示（投映）を開始します。
FTPサーバーの切断
.....「切断」へポインターを合わせSETボタンを押すとサーバーの接続が遮断され、画像表示が止まります。

【有線LANの場合】



【無線LANの場合】



操作上のご注意：

画像表示中は、マルチカードイメージャー本体をプロジェクターから取り外したり、プロジェクターの電源を切ったりしないでください。取り外しの際は必ず画像表示を停止（切断）してください。画像表示中に取り外すとプロジェクターの動作がロックされます。この場合、プロジェクターの電源を切り、一度ACコードをコンセントから抜いてください。

Chapter 12

12. 付　録

・問題と解決のための確認
・用語の解説
・arp + ping コマンドによる IP アドレスの設定
・仕様

問題と解決のための確認

マルチカードイメージャーのセットアップ、または、操作における不都合が生じた場合、以下該当する項目を参照のうえ、確認を行ってください。

■ MCI Clientでプロジェクターに接続できない。

プロジェクターの入力を「Wireless」または「Wired」になっているか確認します。
「Waiting For Connection」のタイトルバーが画面に出ますか。

いいえ .....マルチカードイメージャーがプロジェクターへ正しく取り付けられていません。以下を確認してください。

・マルチカードイメージャーのPOWERランプは点灯していますか。
・LANカードのランプは点灯していますか。
→　マルチカードイメージャー、LANカードの取り付けを確認ください。
・LANケーブルが、LANカードに正しく接続されていますか。（有線LANでご使用の時）
→　「4.設置のしかた」、「6.有線LANの設定」、「7.無線LANの設定」で、取り付けの確認を行ってください。

はい .....LANの設定が正しく行われていません。以下の項目を確認ください。

■ 無線LANがプロジェクターに接続できない。

アドホック(AdHoc)通信の場合；

プロジェクターのLAN設定を工場出荷設定LAN3を選択し、これを使用する場合

プロジェクターの設定を確認してください。

・IP Address.....適切ですか。他のIPアドレスと重なっていませんか。
・Sub net　.....工場出荷設定255.255.0.0としてください。
・Gateway　.....工場出荷設定255.255.255.255のままとしてください。
・Connection Status.....AdHocになっていますか。
・ESSID/SSID/IBSSID .....MCI Clientのコンピュータ（以下のもの）と同じになっていますか。
→　MCI Clientコンピュータの設定を確認してください。
・無線チャンネルが１１チャンネルになっていますか。
→　マルチカードイメージャーの工場出荷設定は11チャンネルです。
・ESSID/SSID/IBSSIDがプロジェクターと同じになっていますか。
・WEPが設定されていませんか。
→　一度無効にし、マルチカードイメージャーに接続の後、WEPを有効にするにはWEBブラウザーで設定します。（「8.ブラウザーでの設定」参照）

インフラストラクチャ(Infrastructure))通信の場合；

プロジェクターのLAN設定を工場出荷設定LAN2を選択し、これを使用する場合。

プロジェクターの設定を確認してください。
・IP Address.....設定する必要ありません。
・Sub net .....アクセスポイントの設定にあっていますか。
・Gateway .....アクセスポイントの設定にあっていますか。
・Connection Status.....Infrastructure になっていますか。
・ESSID/SSID/IBSSID .....アクセスポイントの設定にあっていますか。

MCI Clientコンピュータの設定を確認してください。
・IP Address.....設定する必要ありません。*
・無線チャンネル .....１１チャンネルになっていますか。
・ESSID/SSID/IBSSID .....アクセスポイントの設定と同じになっていますか。
・アクセスポイントにWEPが設定されていませんか。
→ 一度無効にし、マルチカードイメージャーに接続の後、WEPを有効にするにはWEBブラウザーで設定します。(「8.ブラウザーでの設定」参照)

※ 工場出荷設定LAN2を使う場合、DHCPサーバ/BOOTサーバがネットワーク通信出来る環境下にある必要があります。アクセスポイントがDHCP機能を有している場合もあります。設定に関しての詳しくはこれら機器の使用説明書、システム管理者にご相談ください。

プロジェクターがルーターを越えた違うセグメントに設置されていませんか。
オプション設定でIP Addressを直接指定してください。「7.無線LANの設定」(P-39)を参照。

■ 有線LANがプロジェクターに接続できない。

プロジェクターのLAN設定を工場出荷設定LAN4を選択した場合

プロジェクターおよびMCI ClientコンピューターのIP Address, Sub net, Gatewayを確認ください。
設定に関しての詳しくはシステム管理者にご相談ください。

プロジェクターがルーターを越えた違うセグメントに設置されていませんか。
オプション設定でIP Addressを直接指定してください。「7.無線LANの設定」(P-39)を参照。

LAN環境の設定のしかたについて；

マルチカードイメージャーを既存のLAN環境に合わせて設置する場合、はじめにMCI Clientを起動しているコンピューターを工場設定の環境にあわせマルチカードイメージャーに接続します。このあとWEBブラウザーを使って詳しい設定を行い、後にMCI Clientコンピューターをもとの環境に戻します。

■ WEBブラウザ―でマルチカードイメージャーに接続できない。

MCI Clientでプロジェクターに接続出来ますか。
いいえ .....無線LANまたは、有線LANの設定を確認ください。
はい.....ブラウザーのプロキシの設定を確認ください。
(ブラウザーの環境設定P-42参照)

■ MCI Clientがプロジェクターに接続出来るが、プロジェクターに画像が表示できない。

- プロジェクターの入力がWirelessまたはWiredになっていますか。

■ PJControllerの操作で正しいプロジェクターの操作画面が出ない。また、説明書の記載されている操作画面と、実際の操作画面が異なる。

- PJControllerの初期設定画面で正しいモデルコードを入力してください。
「10.PJControllerの使いかた」の中の初期設定をする(P-64)参照。
【注意】使用説明書に記載されている操作説明と、表示されている画像は実際のものと異なる場合があります。
記載は標準的な機種で記載しております。実際の詳しい取り扱いは、このマルチカードイメージャーでご使用になるプロジェクターの使用説明書をご覧のうえ操作を行ってください。

■ PJControllerで電源の入り・切りができない。

- マルチイメージャーカードを使うための、プロジェクター設定が正しく行われていません。
「10.PJControllerの使いかた」の中のプロジェクターの電源と状態(P-67)参照。

■ プロジェクターの操作でネットワークビューワーが動作しない。

- FTPサーバーの設定が正しく行われていますか。はじめにFTPサーバーの設定が必要です。「11.ネットワークビューワーの使いかた」の中の、3)プロジェクターで操作する(P-86)参照.

■ 画像の表示が遅い。

- AdHoc無線通信モードの場合、使用している無線チャンネルを確認ください。
同じチャンネルを近くで使用している場合、スピードが落ちたり、不安定になったりします。使用チャンネルを変えてみてください。マルチカードイメージャーとMCI Clientコンピューターの両方を合わせる必要があります。
また、PJControllerの中のオプション設定で圧縮方式を調整してみてください。
「9.ネットワークを使って画像を表示する」参照。

■ コンピューターのMCI Client、マルチカードイメージャーがロックして動作しなくなった。

- MCI Clientアプリエーションを終了し、プロジェクターの電源を切り、ACコードをコンセントから抜いて、プロジェクターの電源を再度入れ直してください。
注意；ネットワークビューワーが動作中にマルチカードイメージャーをプロジェクタから取り外さないでください。MCI Clientおよびマルチカードイメージャーがロックし操作出来なくなります。

用語の解説

DHCPサーバ (Dynamic Host Configuration Protocol)

TCP/IPでネットワークを構築するときは、必ず各コンピュータ等の機器にIPアドレスを設定する必要があります。
DHCPサーバがネットワーク上に存在すると、ネットワーク上のパソコンや無線LANコンピュータにIPアドレスを自動的に割り振ることができます。Windows2000サーバやダイヤルアップルータなどのDHCPサーバ機能が内蔵された機器がネットワーク上に存在する場合、DHCPサーバ機能が動作している場合があります。DHCPサーバ機能が動作しているかどうかは、システム管理者にお尋ねください。

ESS-ID (Extended Service Set ID)

無線LANコンピュータ同士、また、アクセスポイントと通信を行う場合、通信時に混線しないためのIDです。 同じESS-IDを設定した無線LANコンピュータ同士、また、アクセスポイントと通信を行う事が出来ます。ESS-IDの設定記号が異なると通信を行うことが出来ません。ESS-IDは、大文字・小文字の区別があり、半角英数字および半角記号が32文字まで入力できます。

WEP ［暗号化］(Wired Equivalent Privacy : ウェッブ)

無線LANのコンピューター、およびアクセスポイント機器に暗号キーを設定することにより、外部からの無線パケット解析（盗聴）を防ぐことができます。暗号キーを使用する場合、無線通信をおこなう機器それぞれに同じ暗号キーを設定する必要があります。

Wi-Fi (the Standard for Wireless Fidelity : ワイファイ)

WECAによる無線LAN規格「IEEE802.11b High-Rate」のマーケティング上のブランドネームです。WECAの相互運用性テストをクリアした製品にのみ与えられ、Wi-Fi認定製品同士での相互運用性がWECAにより保証されています。
LANなど、ネットワーク機器を導入される場合、Wi-Fiマークのあるものをお勧めします。

無線チャンネル

ワイヤレスで通信をおこなう際、無線通信に使う周波数帯域をいくつかのチャンネルに分けて使っており、通信をおこなう無線機器間では同じチャンネルに合わせる必要があります。同じフロアで同じチャンネルを使い、ESS-IDの異なる無線LANネットワークがいくつかあるとき、他の無線LANネットワークで通信していると、通信速度が遅くなることがあります。この場合、それぞれの無線LANネットワークごとに使用する電波の周波数(無線チャンネル)を変えて使用すると、他の無線LANネットワークと相互干渉も少なくし通信することができます。

WECA (Wireless Ethernet Compatibility Alliance)

統一無線LANの普及促進に向け、IEEE802.1 lb High-Rate規格を推進し、準拠した製品の相互運用性を保証するための団体です。

MAC アドレス (Media Access Control Address)

各ネットワーク機器に与えられた固有の物理アドレスです。
MACアドレスは、先頭から3バイトのベンダコードと残り3バイトのユーザコードの6バイトで構成されます。
ベンダコードは、IEEEが管理/ 割り当てをおこなっております。ユーザコードはネットワーク機器の製造メーカーが独自で番号管理をおこなっています。(番号の重複はありません) つまり、MACアドレスは、世界中でただ一つの物理アドレスが割り当てられています。Ethernetではこのアドレスを元にしてフレームの送受信をおこなっています。

arp + ping コマンドによるアドレスの設定

本機のIPアドレスは、Windows コマンドプロンプトの arp と ping を使っても行うことができます。

1. 本機を起動し、本機と無線通信できるようにパソコンの無線 LAN カード（アダプタ）の設定を変更します。

2. Windows の「スタート」 → 「ファイル名を指定して実行」を選択し、“名前”欄に“command”と入力し「OK」をクリックします。“MS-DOS プロンプト”（コマンドプロンプト）ウィンドウが起動し、arp コマンドを次のように入力し実行します。

（例）

C:¥> arp -s 169.254.1.100 00-c0-6f-05-1c-c2

―― 部は本機に設定したいIP アドレス

------- 部は本機の MAC アドレスで 2 文字ごとに"-"(ハイフン)で区切ります。

MAC アドレスは本機の裏側のラベルに記述しています。

3. 続いて次のように入力します。

（例）

C:¥> ping 169.254.1.100　　（ping を実行することで IP アドレスが設定されます）

―― 部は本機に設定したいIP アドレス

Reply from 169.254.1.100:bytes=32 times=2ms TTL=255　　（このような表示が出れば設定終了）

【メモ】 設定した IP アドレスは本機に保存され、本機の電源を切っても保持されます。再設定も同じ方法で行なえます。
本機の設定で、arp + ping が Disable に設定されている場合、IP アドレスがこの方法では設定できません。
（工場出荷時は Enable（使用する）に設定されています。）

仕　様

マルチカードイメージャー　本体

電源部	
消費電力	動作時：DC3.3V 1.5A(MAX)
	スタンバイ時:DC3.3V 1.2A(MAX)
プロジェクター接続部	
外部インターフェース	デジタルRGB出力:DVI29ピン（オス）
環境条件	
動作環境条件	5～35℃
保存環境条件	-20～60℃
規格	
日本	VCCI ClassB TELEC
アメリカ	FCC Class B
カナダ	IC(ICES-003)
ヨーロッパ	CE Mark
その他	
外形寸法	129(W)×70(D)×27(H) mm
質量	170g

無線 LAN カード

ネットワークインターフェース	IEEE802.11b
通信モード	802.11 AdHoc、Infrustracture
周波数域帯	2412MHz - 2462MHz
変復調方式	CCK、BPSK、QPSK
通信可能範囲	屋外　120m / 屋内　80m ※ただし、使用環境により異なります。
無線転送速度	1/2/5.5/11Mbps（自動切り換え）
セキュリティ	WEP40/128bit、SSID/ESSID
プロトコル	TCP/IP
外形寸法	43(W) ×57(D) × 10(H) mm
質量	20g

有線 LAN カード

有線転送速度	10Mbps (10BASE-T)
プロトコル	TCP / IP
外形寸法	43(W) ×88(D) × 15(H) mm
質量	30g

Canon

CANON INC. 30-2, Shimomaruko 3-chome, Ohta-ku, Tokyo 146-8501, Japan

U.S.A.

CANON U.S.A., INC.
One Canon Plaza, Lake Success, NY 11042-1198, U.S.A.

CANADA

CANON CANADA, INC.
6390 Dixie Road Mississauga, Ontario L5T 1P7 Canada

CENTRAL&SOUTH AMERICA

CANON LATIN AMERICA, INC.
703 Waterford Way Suite 400 Miami, Florida 33126 U.S.A.

EUROPE, AFRICA&MIDDLE EAST

CANON EUROPA N.V.
P.O.Box 2262, 1180 EG Amstelveen, The Netherlands

CANON COMMUNICATION & IMAGE FRANCE S.A.
102, Avenue du General de Gaulle, 92250 La Garenne Colombes, France

CANON (UK) LTD.
Woodhatch, Reigate, Surrey RH2 8BF, United Kingdom

CANON DEUTSCHLAND GmbH
Europark Fichtenhain A 10, 47807 Krefeld, Germany

CANON ITALIA S.p.A.
Palazzo L, Strada 6, 20089 Milanofiori-Rozzano (MI), Italy

CANON (Schweiz) A.G.
Industriestrasse 12, 8305 Dietlikon, Switzerland

CANON BENELUX N.V./S.A.
Bessenveldstraat 7, 1831 Diegem (Machelen), Belgium

CANON GmbH
Zetschegasse 11, A-1232 Wien, Austria

CANON ESPANA S.A.
C/Joaquin Costa 41, 28002 Madrid, Spain

CANON SVENSKA AB
Stensätravägen 13, S-127 88 Skarholmen 2, Sweden

CANON NORGE A/S
Hallagerbakken 110, P. O. Box 2-33, Holmlia 1201 Oslo 12, Norway

CANON OY
Kornetintie 3, 00381 Helsinki, Finland

ASIA

CANON HONGKONG CO., LTD.
9/F, The Hong Kong Club Building, 3A Chater Road, Central, Hong Kong

CANON SINGAPORE PTE. LTD.
79 Anson Road #09-01/06, Singapore 079906

OCEANIA

CANON AUSTRALIA PTY. LTD.
1 Thomas Holt Drive, North Ryde, Sydney, N.S.W.2113, Australia

CANON NEW ZEALAND LTD.
Akoranga Business Park, Akoranga Drive, Northcote, Auckland, New Zealand

Printed in Japan
1AA6P1P4187-- (IDLCC)

© CANON INC. 2003

YT1-6308-000